

clarion

取扱説明書

VXZ765

DVD/VCD/CD/WMA/MP3
センターユニット

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

目次

はじめに

ご使用前に知っておいていただきたいご注意を説明しています。

■主な特長

主な特長	6
------------	---

■ご使用前に

安全に正しくお使いいただくために	8
安全上のご注意	9

■取扱上のご注意

ディスプレイ部について	10
表示について	10
エラー表示について	10
本体のお手入れについて	11
DCP部の取扱いについて	11
CD/DVDの取扱いについて	11
本機で再生できるディスク	12
DVDビデオの特長	12
リージョン番号について	13
ドルビーデジタルについて	13
DTSについて	13
DVDメニューについて	13
商標等について	13

本機の操作

■各部の名称とはたらき

本機を操作するボタン	14
(付属)リモコン(RCB-173)の使いかた	16
ディスプレイ表示	20

■基本の操作

スピーカー設定をする	22
DCPの取り外しかた	23
DCPの取り付けかた	23
電源を入れる	24
ソースを選ぶ	24
音量を調節する	24
時刻を合わせる	25
表示を切り換える	26
タイトルをスクロールさせる	26
タイトル表示を切り換える	27
重低音をON/OFFする(マグナベースEX機能)	27
音質を簡単に設定する(Zエンハンサープラス機能)	28
センタースピーカー出力の音量を調節する	29
サブウーファー出力の音量を調節する	29
Z エンハンサープラス効果を調整する	30
音質を調整する(バス/トレブル)	30
バランス/フェーダーを調整する	32

■ラジオを聴く

ラジオモードを選ぶ	33
自動メモリーする(オートストア機能)	33
受信バンドを切り換える	33
プリセットメモリーする	33
自動選局する(シーク選局)	34
手動選局する(マニュアル選局)	34
プリセット選局する	35
放送を確かめる(プリセットスキャン)	35
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)	35

■DVDを見る

ディスクを入れる	36
ディスクを取り出す	37
DVDモードを選ぶ	37
DVDビデオを再生する	37
DVDメニューを選ぶ	37
再生を停止する	38
再生を一時停止する	38
スロー再生をする	38
早送り/早戻しする	38
チャプターを選ぶ	39
最初のチャプターから見る	39
同じチャプターを繰り返し見る(リピート再生)	39
チャプター/タイトル番号で頭出しする <リモコン操作のみ>	39
音声言語を切り換える <リモコン操作のみ>	40
字幕言語を切り換える <リモコン操作のみ>	40
アングルを切り換える <リモコン操作のみ>	40
再生状態を表示させる <リモコン操作のみ>	41
タイトルメニューを選ぶ	41

■ビデオCDを見る

ビデオCDメニューを選ぶ	42
再生操作(PBC)をON/OFFさせる <リモコン操作のみ>	42
再生を一時停止する	42
スロー再生をする	43
早送り/早戻しする	43
トラックを選ぶ	43
最初のトラックから見る	43
トラック番号で頭出しする <リモコン操作のみ>	43
音声を切り換える <リモコン操作のみ>	44
再生状態を表示させる <リモコン操作のみ>	44

■CD/MP3/WMAを聴く

MP3/WMAについて	45
音楽ディスクを再生する	46
再生を一時停止する	46
早送り/早戻しする	46
曲を選ぶ	47
最初の曲から聴く	47
フォルダを選ぶ (本体操作のみ)	47
トラック/フォルダ番号で頭出しする <リモコン操作のみ>	47
聴きたい曲を探す (スキャン再生)	48
聴きたいフォルダを探す (フォルダスキャン再生)	48
1曲を繰り返し聴く (リピート再生)	49
フォルダ内の曲を繰り返し聴く (フォルダリピート再生)	49
ランダムに曲を聴く (ランダム再生)	49
全フォルダの曲をランダムに聴く (フォルダランダム再生)	49

■DVDビデオ関連の初期設定を変更する

セットアップメニューを選ぶ	50
画面サイズを設定する (TV DISPLAY)	52
アングルマーク表示を設定する (ANGLE MARK)	53
音声言語を設定する (AUDIO)	54
字幕言語を設定する (SUBTITLE)	55
DISC MENUの言語を設定する (DISC MENU)	56
カントリーコードを設定する (LOCALE)	57
パレンタルレベルを設定する (PARENTAL)	58
パスワードを設定する (PASSWORD)	59
スピーカーの有無を設定する (SPEAKER-SEL)	60
スピーカーの出力レベルを調整する (SP-GAIN)	61
スピーカーのディレイ時間を調整する (DELAY)	62
ダイナミックレンジを調整する (DRC)	63
ドルビープロロジックデコードの処理を設定する (Dolby PL)	64
ダウンミックスを設定する (DOWN MIX)	65

■本機の初期設定を変更する

■ディスプレイアジャストモードの項目を選ぶ	66
スクリーンセーバーを設定する (SCRN SVR)	67
メッセージ入力を設定する (INPUT)	67
タイトルスクロール方法を設定する (SCROLL)	68
ディスプレイ照明を設定する (DIMMER)	68
■アジャストモードの項目を選ぶ	69
盗難抑止インジケータを設定する (LED)	70
ボタン操作時のビープ音を設定する (BEEP)	70
ローパスフィルターを設定する (SW LPF)	71
内蔵アンプを設定する (AMP CNCL)	71
TV受信時のステレオ/モノラルを設定する (ST/MONO)	72
TV受信時の主音声/副音声を設定する (MAIN/SUB)	72
TVダイバーシティーを設定する (TV DIVER)	73
携帯用オーディオの入力レベルを設定する (AUX SENS)	73
システムチェックを開始する (SYSTEM)	74

■タイトルをつける

タイトルを入力する	75
タイトルを削除する	76

■別々のソースを楽しむ(2ゾーン機能)

2ゾーン機能について	77
2ゾーン機能をON/OFFする	77
ソースを切り換える	77
接続方法について	78

外部機器の操作

■携帯用オーディオを聴く(AUXモード)

AUXモードに切り換える	79
--------------------	----

■CDチェンジャーを操作する

チェンジャーモードを選ぶ	80
ディスクを選ぶ	80
聴きたいディスクを探す(ディスクスキャン再生)	81
1枚のディスクを繰り返し聴く(ディスクリピート再生)	81
全ディスクの曲をランダムに聴く(ディスクランダム再生)	81

■MDデッキでグループ編集MDを聴く

グループ機能をON/OFFする	82
グループ編集MDを再生する	82
グループを選ぶ	83
聴きたいグループを探す(グループスキャン再生)	83
1つのグループを繰り返し聴く(グループリピート再生)	83
全グループの曲をランダムに聴く(グループランダム再生)	83

■テレビを見る

TVモードを選ぶ	84
受信バンドを切り換える	84
ビデオを見る	84

その他

システムアップについて	85
CeNETケーブルについて	86
エラー表示について	87
故障と思われる前に	88
簡単セットアップ マニュアル	90
音声出力一覧	91
仕 様	92
アフターサービスについて	93

主な特長

■ DVDビデオ、ビデオCD再生機能

- DVDビデオ (NTSC方式、リージョン番号2)、ビデオCDの再生ができます。
- ビデオモードで録画されたDVD±R/RWディスクの再生ができます。
(ビデオモードで録画ファイナライズしたDVD±R/RWは、機器の仕様や環境設定、ディスクの特性・傷・汚れ等により再生できない場合があります。)

■ MP3/WMA再生機能

- MP3/WMAフォーマットで録音されたCD-R/RW、DVD±R/RWディスクの再生ができます。
- ISO9660レベル1、2、JOLINET、ROMEOに対応
- MP3-ID3TAG/WMA-TAG対応

■ DTS/ドルビーデジタル対応

- DTS、ドルビーデジタル音声を含む5.1chサラウンドで収録されたDVDビデオをそのままの音声でお楽しみいただけます。

■ マルチアングル、マルチストーリー再生機能

- **マルチアングル機能**
DVDビデオに複数のアングル(角度)で撮影された映像が収録されている場合には、お好みのアングルで映像を見ることができます。
- **マルチストーリー機能**
DVDビデオに複数のストーリーが収録されている場合には、お好みのストーリーを楽しむことができます。

■ フロントパネル

- 盗難防止として取り外し可能(DCP=Detachable Control Panel)

■ 表示部

- 大型高輝度VFD採用

■ 高品位24ビット、D/Aコンバータを採用

- D/Aコンバータには、96kHz24bit 6チャンネル高性能D/Aコンバータを搭載

■ 52W×4chハイパワーアンプ内蔵

- 最大出力52W×4chハイパワーアンプを内蔵

■ 拡張性豊かな映像入出力端子を装備

- リアモニターとして、もう1台接続することができます。

■ 6ch出力端子を装備(RCA出力)

- フロント2ch、リア2ch、サブウーファー2ch(サブウーファー出力は、スピーカー設定が5.1chの場合、サブウーファー出力とセンタースピーカー出力となります。)
- 50/80/120Hzのサブウーファーローパスフィルター対応

■ オーディオ入力端子を装備(AUX入力)

- ポータブルMD等が接続できるAUX入力端子(RCA)を装備

■ リモートコントローラー対応

- 付属のリモコンで主な操作が可能

■ 盗難抑止ブリンキングLED搭載

- フロントパネル(DCP)を取り外すとディスク挿入口照明を点滅させることができます。

■ Z-エンハンサープラス機能

- BASS BOOST、IMPACT、EXCITEの3パターンの音質効果をメモリーし好みの音質を即座に設定できます。
- ユーザーのお好みで周波数帯域毎に音質を細かく調整することが可能です。(CUSTOM)

■ マグナベースEX機能

- 音量レベルに連動して、重低音域をコントロールする音質調整機能

■ タイトル入力機能

- ラジオやCDにタイトルをつけ、受信時やCD再生時に表示させるタイトル入力機能(英・数・記号8文字)

■ メッセージ入力機能

- スクリーンセーバーの1つとしてお好みに合わせて表示することができます。(英・数・記号30文字)

■ 2ゾーン機能

- 2つのソースを同時に動作させて、メインゾーン(MAIN)/サブゾーン(SUB)から別々に出力し、複数のユーザーが別々のソースを楽しむことができます。

■ ラジオチューナー部

- 聴きたい放送局を、ワンタッチで選局できるISR機能
- メモリーした放送局を順に受信するプリセットスキャン機能
- 30局の放送局名入力機能

■ **ceNET** (Clarion Entertainment Network:シーイーネット)結線対応

- 外部機器との結線に、CeNET方式を採用これにより、複数の外部機器を接続する場合も中継ボックスが必要ありません。
- iPod接続BOXおよび、CDチェンジャーを合計2台まで接続および操作できるチェンジャーコントロール機能

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中には具体的な注意内容(左図の場合は指はさまれ注意)が描かれています。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



❗ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

- 安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

安全上のご注意

■使用上のご注意

警 告

●走行中は運転者による操作をしない…

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



●運転者がビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させる…



●走行中はピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしない…

運転操作に支障をきたし、事故の原因となります。



●本機を分解したり、改造しない…

事故や火災、感電の原因となります。



●ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談してください。



●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する…

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。



●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



●本機の取り付け及び取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…

専門技術と経験が必要です。



■ご使用の前に

⚠ 注意

●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



●ディスク挿入口に手や指を入れない…

ケガの原因となることがあります。



●ディスク挿入口に異物を入れない…

火災や感電の原因となることがあります。



●本機を車載用以外には使用しない…

感電やケガの原因となることがあります。



●アンテナは、折れ曲がった状態で使用しない…

歩行者などに接触してケガの原因となることがあります。



●樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して 清掃しない…

部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。



●電源を切るときは、音量を最小にする…

電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



■取扱上のご注意

ディスプレイ部について

- 本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。
- 直射日光などの関係より、製品に光が反射する恐れがございます。運転の際は十分注意して頂きますようお願い致します。

表示について

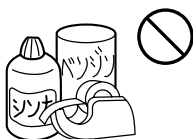
- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。
常温に戻れば回復します。
- 表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、発光体特有の現象で、故障ではありません。
常温に戻れば回復します。

エラー表示について

- 本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」(87ページ)の項目を参照して障害を取り除いてください。
障害を取り除けば、通常の動作になります。

本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



⚠ 注意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障し、火災などの原因となることがあります。

自動車用クリーナーなどを使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

DCP部の取扱いについて

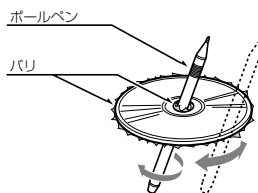
- DCP部は精密部品ですので、DCPを落として、衝撃を与えないでください。また、絶対に水をつけないでください。
- DCP部が汚れたときには、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

CD/DVDの取扱いについて

- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、ディスクや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。ディスクが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。
- 本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。
- CD/DVDを再生中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。

■取扱い上のご注意

- CD-R/RW、DVD±R/RWは、通常の音楽CDやDVDビデオに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。
- 記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。
- レーベル面（印刷面）や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

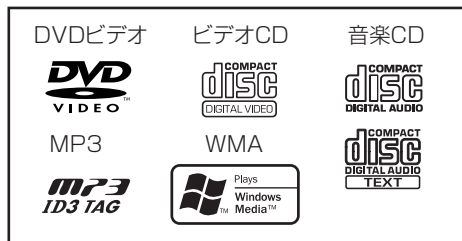
■お手入れ

- 汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
- 従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

取扱上のご注意

本機で再生できるディスク

本機が再生できるディスクは、次の通りです。



●CD Extraディスク

CD Extraディスクとは1セッション目がAudioセッション、2セッション目がDataセッションの計2セッションが記録されているディスクです。個人作成によるDataセッションが2セッション以上記録されているディスクは、再生できません。

※CD Extraディスクの場合は、1セッション目が認識されます。

●DVD±R/RWディスク

- ビデオモードで録画されたDVD±R/RWを再生できます。

※ビデオモードで録画、ファイナライズしたDVD±R/RWは、機器の仕様や環境設定、ディスクの特性・傷・汚れ等により再生できない場合があります。

- MP3/WMAフォーマットで録音されたDVD±R/RWディスクを再生できます。

※DVD±R/RWに録音されたMP3/WMAは、機器の仕様や設定、ディスクの特性・傷・汚れ等により再生できない場合があります。

- VRモードや、パケットライト方式で録画されたディスクは再生できません。
- ビデオCDフォーマットで録画されたDVD±R/RWディスクは再生できません。

●CD-R/CD-RWディスク

- 音楽CD、MP3/WMAフォーマット、ビデオCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWを再生できます。

※ファイナライズされていないCD-R/CD-RWディスクでは、再生するまでの時間が長くなります。また、記録状態によっては再生できない場合もあります。

●再生できないディスク

- シングルDVD/CD(8cm)は、再生できません。
- DVD-Audio、DVD-RAM、フォトCDは、再生できません。
- スーパーオーディオCD(SACD)は、再生できません。またハイブリッドディスクの場合でもCD層の再生はできない場合があります。
- シースルーディスク(半透明CD)、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

DVDビデオの特長

DVDビデオは、透明感のある画質、鮮やかな色合いを再現できるハイクオリティデジタルビデオです。12cmのディスク1枚で、映画なら1本分を再生することができます。またDTS、ドルビーデジタル5.1chサラウンドで、劇場並の迫力と臨場感を再現することができます。

本機は、DVDビデオの高画質・高音質を再現できることはもちろん、次のような特長を持っています。

- 以下に説明する機能は、DVDビデオにより、収録されている音声言語、字幕言語、アングルなどが異なります。詳しくは、DVDビデオの説明書をご覧ください。

●マルチ音声言語機能

DVDビデオは、1本の映画の中に最大8つの言語を収録できますので、お好みの言語で映画を見ることができます。

記録されている音声の数: 8

●サブタイトル(字幕言語)機能

DVDビデオは、1本の映画のなかに最大32カ国語まで収録できます。お好みの字幕言語で映画を見ることができます。

記録されている字幕の数: 2

●マルチアングル機能

DVDビデオに複数のアングル(角度)で撮影された映画が収録されているれば、お好みのアングルで映画を見ることができます。

記録されているアングルの数:



●マルチストーリー機能

DVDビデオは、1本の映画のなかにいくつかのストーリーが収録されている場合には、お好みのストーリーを楽しむことができます。操作方法はディスクによって異なりますが、再生中に、ストーリー選択の指示に従って操作してください。

リージョン番号について

リージョン番号は、発売地域ごとにディスクとプレーヤーに地域番号が割り当てられています。

日本で再生できる番号は、「ALL」と「2」です。(または「2」を含むもの)

ディスクのリージョン番号は、ディスクのジャケットに表記されている下に示すマークを確認してください。



NTSC



NTSC



NTSC

ドルビーデジタルについて

ドルビーデジタルは、最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一システムです。



DTSについて

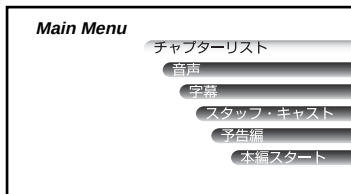
DTS(Digital Theater System)は、デジタルシアターシステムズ社の開発した音声圧縮技術です。低圧縮のためデータ量が多く、高音質の再生が可能です。



DVDメニューについて

DVDビデオ再生時にディスクに記録されているメニュー画面を呼び出すことができます。

本機では、このメニュー画面に従ってお好みのシーンまたは案内情報等を見ることができます。



商標等について

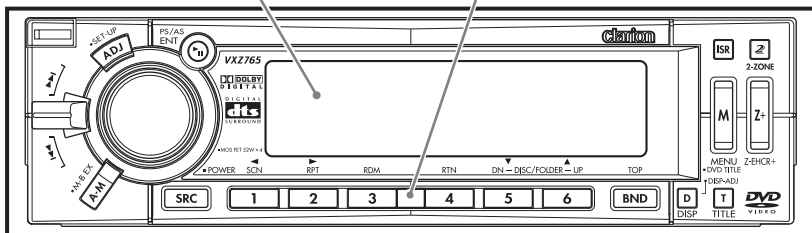
- 本機には、マクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法、クレームその他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及びその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止されています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。
- “DTS”及び“DTS Digital Surround”は米国 Digital Theater Systems社の登録商標です。
- Windows Media™、及びWindows®ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標および登録商標です。

各部の名称とはたらき

本機を操作するボタン

ディスプレイ部
選局/演奏状態の各情報
を表示します。

リモコン受光部



オープンボタン

- ・フロントパネルを開くときに使います。

■POWER

SRC

ソースボタン

- ・電源を入れ、各モードに切り換えます。電源を切るときは押し続けます。(約1秒間)



ロータリーボリューム

- ・音量を調整します。
- ・アジャスト/ディスプレイアジャストモード時に、各種設定に使います。



サーチレバー

- ・ラジオモード時に、選局に使います。
- ・DVDモード時に、チャプターの選択または選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しをします。
- ・アジャスト/ディスプレイアジャストモード時に、項目選択に使います。



アジャストボタン

- ・アジャストモードを表示します。
- ・DVDモード時に、押し続けると(約1秒間)セットアップメニューを表示します。



オーディオモードボタン

- ・音質/バランス/フェーダーを表示します。
- ・押し続けると(約1秒間)マグナベースEX機能をON/OFFします。

PS/AS
ENT



プレイ/ポーズボタン

プリセットスキャンボタン

- ・DVDモード時に、再生を一時停止をします。また、各種設定の決定をします。
- ・DVDモード時に、押し続けると(約1秒間)再生を停止します。
- ・ラジオモード時に、メモリーされた放送局を確認できます。また、押し続けて(約2秒間)放送局を自動的にメモリーします。



ダイレクトボタン

- ・ラジオモード時に、放送局をメモリーして直接呼び出します。



バンドボタン

- ・ラジオモード時に、バンドを切り換えます。また、押し続けて(約1秒間)自動選局か手動選局に切り換えます。
- ・DVDモード時に、最初の曲またはチャプターを再生します。



DISP-ADJ

ディスプレイボタン

- ・ディスプレイ表示を切り換えます。
- ・押し続けると(約1秒間)ディスプレイアジャストモードを表示します。
- ・約4秒以上押し続けると、表示を消灯します。



タイトルボタン

- CD/MP3/WMAディスク再生時に、タイトル表示を切り換えます。また、タイトル表示中に押し続けると（約1秒間）タイトルをスクロールします。
- ユーザータイトル表示中に押し続けると（約1秒間）タイトル入力モードを表示します。



ISRボタン

- 現在のモードにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼出します。（ISR機能）



2-ZONE

2ゾーンボタン

- 押し続けると（約1秒間）2ゾーン機能をON/OFFします。
- 2ゾーン機能ON時にメイン/サブゾーンを切り換えます。



Z-EHCR+

Zエンハンサーボタン

- 3種類の音質効果メモリーを切り換えます。またお好みに合わせて調整できるカスタム機能を備えています。



MENU
DVD TITLE

メニューボタン

- DVDモード時に、DVDメニューを表示します。また押し続けると（約1秒間）DVDタイトルメニューを表示します。
- ビデオCD再生時は、（PBC-ON時）ビデオCDメニューを表示します。



1



2



3



4

スキャンボタン

- CD/MP3/WMAディスク再生時に、約10秒間ずつスキャン再生をします。
- MP3/WMAディスク再生時に、押し続けると（約1秒間）フォルダスキャン再生をします。

リピートボタン

- DVDモード時に、繰り返し再生をします。（ビデオCD以外）
- MP3/WMAディスク再生時に、押し続けると（約1秒間）フォルダリピート再生をします。

ランダムボタン

- CD/MP3/WMAディスク再生時に、ランダム再生をします。
- MP3/WMAディスク再生時に、押し続けると（約1秒間）フォルダランダム再生をします。

リターンボタン

- DVDモード時に、セットアップメニューのサブメニューを表示中にメインメニューに戻ります。

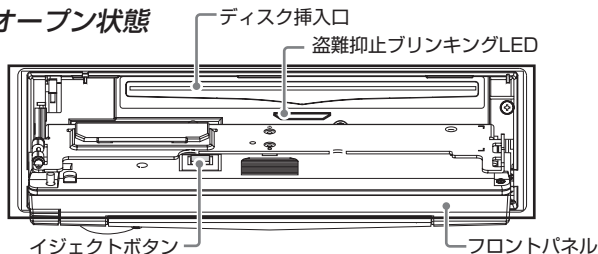
フォルダ（ディスク）選択ボタン

- MP3/WMAディスク再生時に、フォルダを切り換えます。
- チェンジャーモード時はディスクを切り換えます。

カーソルボタン

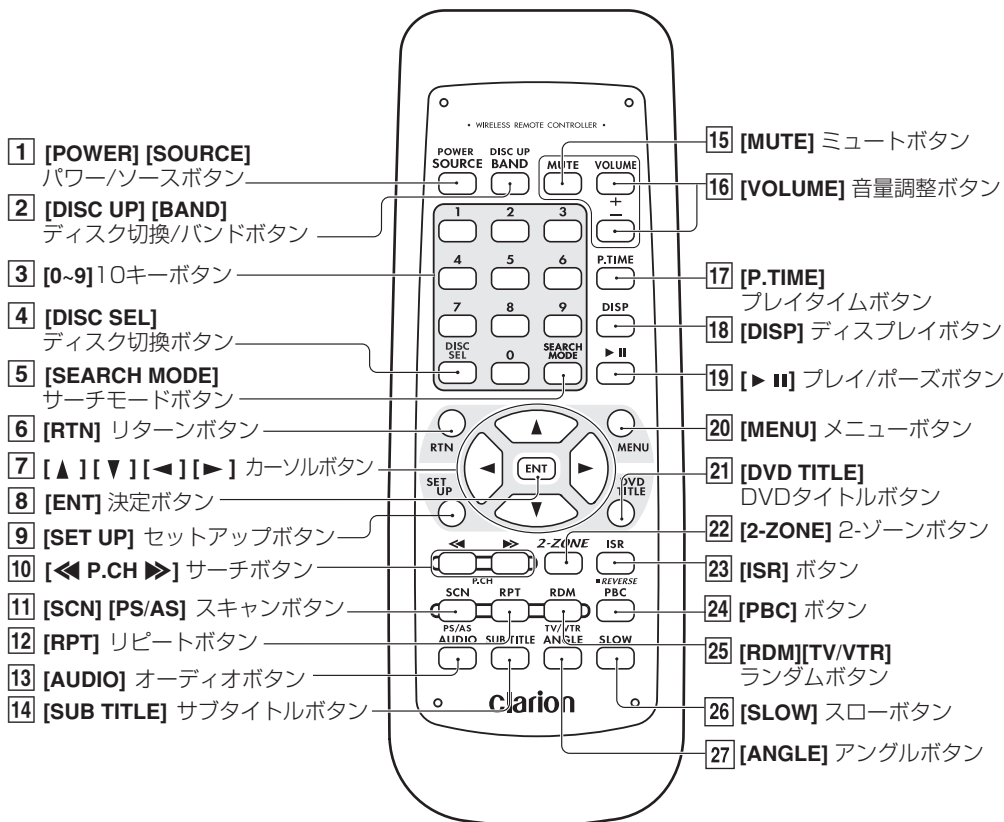
- モニター画面に表示されるメニュー項目を選択するとき、カーソルを上下左右に動かします。

フロントパネルオープン状態



各部の名称とはたらき

(付属)リモコン(RCB-173)の使いかた



1 [POWER] [SOURCE] パワー/ソースボタン

- 電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。

ラジオ → (MDデッキ) → DVD → (CDチェンジャー)
↑
AUX ← (TV) ←

- 押し続けると(約1秒間)電源が切れます。

2 [DISC UP] [BAND] ディスク切換/バンドボタン

<ラジオ/TVモード時>

- 受信バンドを切り換えます。

<DVDモード時>

- DVDでは、先頭のチャプターに戻ります。
ビデオCDでは、先頭のトラックに戻ります。
(PBC OFFのとき)

CDでは、先頭の曲に戻ります。

MP3/WMAでは、フォルダの1曲目に戻ります。

<チェンジャーモード時>

- ディスクを切り換えるときに使用します。

3 [0]～[9] 10キーボタン

- 数字を入力します。

4 [DISC SEL] ディスク切換ボタン

- 本機ではご使用できません。

5 [SEARCH MODE] サーチモードボタン

- サーチモードボタンを押した後、10キーボタンで番号を入力します。
 - ・DVDビデオ : タイトル/チャプター番号で頭出します。
 - ・MP3/WMA : フォルダ/トラック番号で頭出します。
 - ・ビデオCD : トラック番号で頭出します。(PBC OFFのとき)
 - ・CD : トラック番号で頭出します。

6 [RTN] リターンボタン

- 一つ前のメニュー画面に戻ります。

7 [▲][▼][◀][▶] カーソルボタン

- モニター画面に表示されるメニュー項目を選択するとき、カーソルを上下左右に動かします。

8 [ENT] 決定ボタン

- 設定した項目を実行するときに押します。

9 [SET UP] セットアップボタン

- セットアップメニューを表示します。(DVD モード時)

10 [◀◀ P.CH ▶▶] サーチボタン

<DVD/チェンジャーモード時>

- 場面や曲の頭出しをします。
- 押した回数だけ先の曲、前の曲を再生します。押し続けると(約1秒間)早送り/早戻しをします。

<ラジオ/TVモード時>

- プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。

11 [SCN][PS/AS] スキャンボタン

<DVD/チェンジャーモード時>

- ディスク内の全曲を10秒間ずつ再生します。
- 押し続けると(約1秒間)全ディスク(フォルダ)の1曲目を10秒間ずつ再生します。

<ラジオ/TVモード、プリセットスキャン時>

- プリセットした放送局を確かめられます。
- <ラジオ/TVモード、オートストア時>
- 押し続けると(約2秒間)放送局を自動的にメモリーします。

12 [RPT] リピートボタン

<DVD/チェンジャーモード時>

- 繰り返し再生します。
- 押し続けると(約1秒間)ディスク(フォルダ)の曲を繰り返し再生をします。

<TVモード時>

- ステレオ/モノラルに切り換えます。

13 [AUDIO] オーディオボタン

- DVDビデオ : 音声言語を切り換えます。(設定が複数ある場合のみ)
- ビデオCD : 音声の出力方法を切り換えます。

14 [SUB TITLE] サブタイトルボタン

- 字幕言語を切り換えます。

15 [MUTE] ミュートボタン

- 消音します。

16 [VOLUME] 音量調整ボタン

- +側を押すと音量が大きくなります。
- 側を押すと音量が小さくなります。

17 [P.TIME] プレイタイムボタン

- プレイタイム表示を切り換えるときに使用します。

18 [DISP] ディスプレイボタン

- 「メイン表示」、「時計表示」を切り換えます。
- メイン表示中に押し続けると(約1秒間)タイトル表示を切り換えます。
 - ・CDテキスト再生時は、「ユーザータイトル」→「ディスクタイトル」→「アーティスト名」→「トラックタイトル」を切り換えます。
- 約4秒以上押し続けると、表示を消灯します。

■各部の名称とはたらき

19 [▶||] プレイ/ポーズボタン

<DVD/チェンジャーモード時>

- 再生を一時停止します。
- 押し続けると(約1秒間)再生を停止します。

20 [MENU] メニューボタン

- DVDビデオ : DVDメニューを表示します。
- ビデオCD : PBC ONのとき、ビデオCDメニューを表示します。

21 [DVD TITLE] DVDタイトルボタン

- DVDビデオ : タイトル画面を表示します。

22 [2-ZONE] 2ゾーンボタン

- 押し続けると(約1秒間)2ゾーン機能をON/OFFします。
- 2ゾーン機能ON時にメイン/サブゾーンを切り換えます。

23 [ISR] ボタン

- モードにかかわらず、登録されているラジオ局を呼び出します。
 - ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ラジオモードでISRボタンを押し続けます(約2秒間)。
- ※リバース機能はご使用できません。

24 [PBC] ボタン

- プレイバックコントロール(PBC)付きビデオCDのPBC機能をON/OFFします。

25 [RDM] [TV/VTR] ランダムボタン

<DVD/チェンジャーモード時>

- ランダムに再生します。
- 押し続けると(約1秒間)全てのディスク(フォルダ)をランダムに再生します。

<TVモード時>

- TV/VTRを切り換えます。

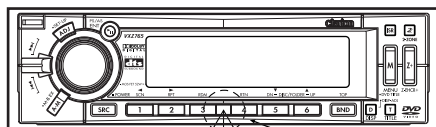
26 [SLOW] スローボタン

- ボタンを押し続けている間、スロー再生を行います。(DVD ビデオ/ビデオCD)

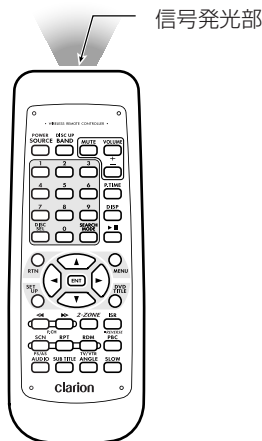
27 [ANGLE] アングルボタン

- 複数のアングルが記録されているDVDビデオを再生時、アングルを切り換えます。

■ リモコン受光部について



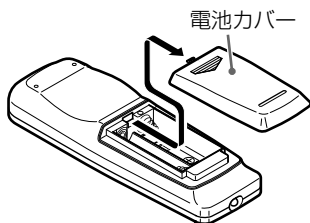
リモコン受光部 操作範囲
各方向30°以内



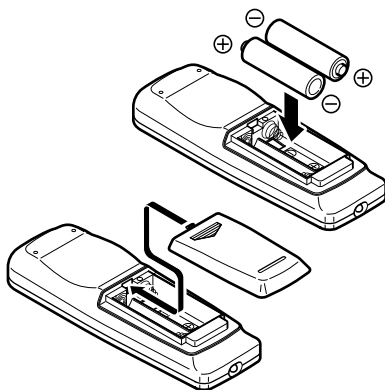
信号発光部

■ 電池の入れかた

1. 電池カバーを開ける



2. 付属の単3形電池2本を、内部の $\oplus$ $\ominus$ 表示に合わせて入れ、電池カバーを閉める



ご注意

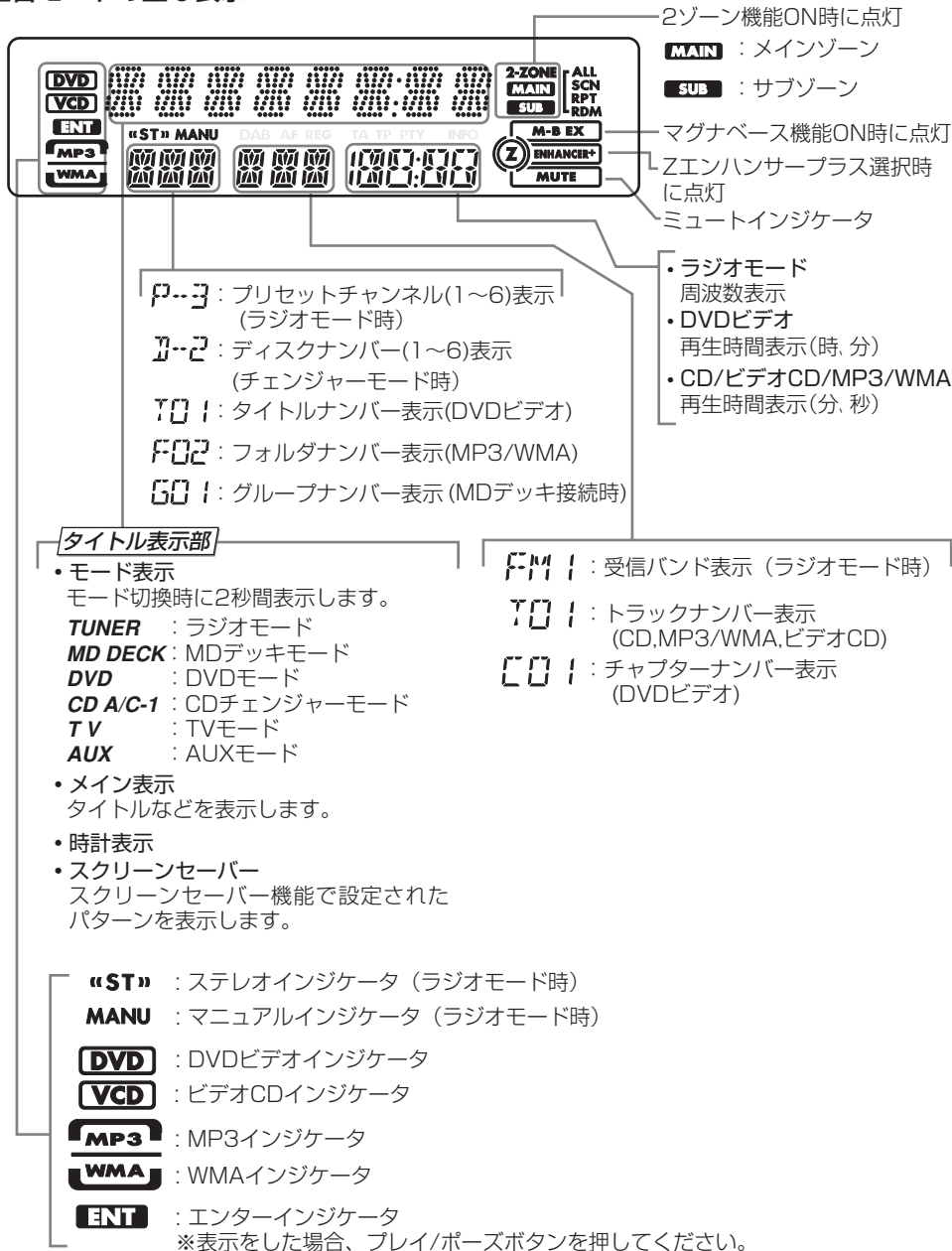
使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

- 指定電池以外は使用しない。
- 電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
- 電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。
- 使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。

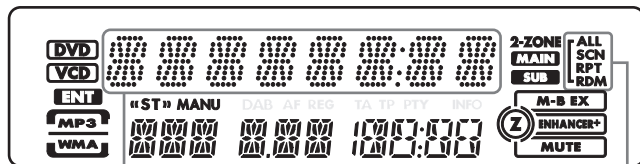
■各部の名称とはたらき

ディスプレイ表示

■各モードの主な表示



■その他の表示



- ALL** : フォルダ（ディスク/グループ）スキャン/
リピート/ランダム再生のときに点灯
- SCN** : スキャン再生のときに点灯
: プリセットスキャン時に点灯(ラジオモード時)
- RPT** : リピート再生のときに点灯
- RDM** : ランダム再生のときに点灯

タイトル表示部

・ラジオモード時の表示

- NO TITLE** : タイトル未設定時
- A-STORE** : オートストア選択時
- P-SCAN** : プリセットスキャン選択時
- SEEK UP** } : 自動選局選択時
- SEEK DWN** }

・DVDモード時の表示

- F-READ** : ディスク情報読み込み中
- DRM** : ファイルが読み込めないとき
- NOT SPRT** : ファイルが読み込めないとき
- SETUP** : DVDセットアップメニュー選択中
- DVD MENU** : DVDメニュー選択時
- VCD MENU** : ビデオCDメニュー選択時
- NO TITL** : タイトル未設定時
- NO DISC** : ディスクがないとき
- ERROR** : エラー発生時
- PAUSE** : 一時停止中
- STOP** : 再生停止中

・DVDモード時の表示（モニター画面上）

⊘ **INVALID**

: ボタン操作を受け付けられない場合は、
「INVALID」を表示します。

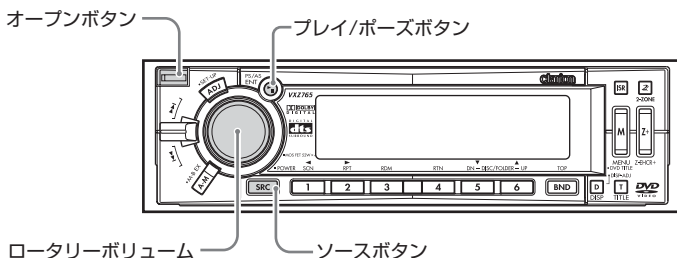
・MDデッキモード時の表示

- GRP READ** : ディスク情報読み込み中
- NO TITL** : タイトル未設定時
- NO GROUP** : グループ編集していないMD再生時にグループタイトルを表示したとき
- NON GRP** : ノングループ再生時に、グループタイトルを表示したとき

・CDチェンジャーモード時の表示

- NO MAG** : CDチェンジャーにマガジンがないとき
- DISC CHK** : ディスクチェック中

基本の操作



スピーカー設定をする

システムチェックについて…

本機は、結線を終えてから最初に電源を入れたときに接続機器の確認を行います。電源を入れたとディスプレイに「**SYSTEM**」が表示され、自動的に本機の内部でシステムチェックが始まります。システムチェックが終わると「**SP-SET**」(スピーカー設定)が表示されます。システムチェックは次のようなときに行います。

- 本機の取り付け直後に電源を入れたとき
- バッテリー交換等で電源が切れたとき
- リセットボタンを押したとき
- システムチェック(74ページ)の操作したとき

スピーカー設定について…

本機は5.1ch製品です。DTS、ドルビーデジタル音声を含む5.1chサラウンドで収録されたDVDビデオを5.1chで再生する場合は、「**5.1ch**」に設定してください。「**音声出力一覧**」(91ページ)を参照してください。

※初期設定は、「**2ch**」です。

- 5.1chをより効果的に楽しみいただく為に、センタースピーカーおよびサブウーファアの接続を推奨します。
- 4スピーカー(フロント/リア)システムの場合は、「**2ch**」に設定してください。

(4スピーカーシステム構成例)

1. 4スピーカー(センタースピーカー/サブウーファー無)
2. 4スピーカー + サブウーファー

- スピーカーの設定を変更する際には、「**システムチェックを開始する (SYSTEM)**」(74ページ)を参照してシステムチェックを行い、再度スピーカー設定をしてください。

ご注意

- スピーカー設定は、ご使用のスピーカー構成に合わせた設定にしてください。設定を間違えると、スピーカーが故障する恐れがあります。

1 ロータリーボリュームを回して、「**2ch**」または「**5.1ch**」を選ぶ



2 プレイ/ポーズボタンを押す



→電源がOFFになります。

3 ソースボタンを押す



DCPの取り外しかた

DCP(Detachable control panel)について…

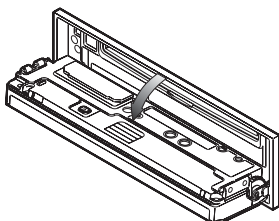
フロントパネル(DCP)は盗難防止用に取り外すことができます。車から離れるときは、DCPをお持ちになることをおすすめします。

1 ソースボタンを押し続けて(約1秒間)、電源を切る

■POWER

SRC

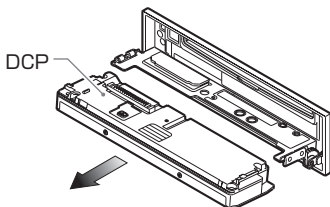
2 オープンボタンを深く押して、フロントパネルを開く



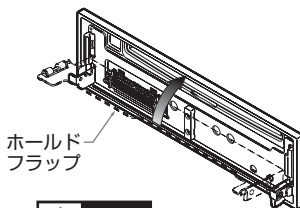
ご注意

- フロントパネルが十分に開かないときは手でゆっくりと開けてください。

3 DCPを手前に取り外す



4 ホールドフラップを閉める



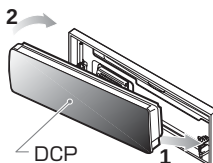
⚠ 注意

- DCPを取外した後は、安全のために必ずホールドフラップを閉めてください。

DCPの取り付けかた

1 DCPの右側を本機に差し込む

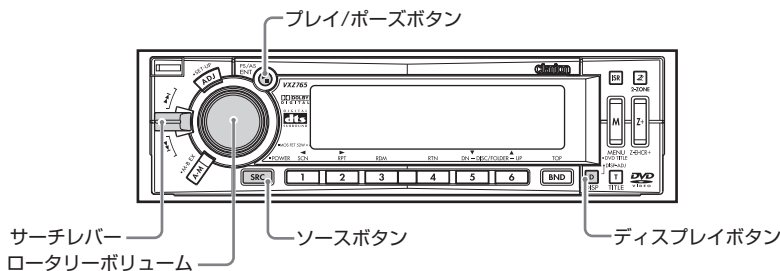
2 DCPの左側を本機に差し込む



⚠ 注意

- DCPは衝撃に弱いです。取り外した後は、落としたり強い衝撃を与えないようにご注意ください。
- フロントパネルが開いたままになっていると、車の振動でDCPが落ちる場合があります。DCPの故障の原因となりますので、フロントパネルを閉じるか、DCPを取外して保管してください。
- 本機とDCPを接続しているコネクタは大変重要な部分です。爪やドライバー等で押してキズをつけないように、注意してください。

■ 基本の操作



電源を入れる

1 ソースボタンを押す

■POWER

SRC

→ 前回の操作終了時のモードが表示されます。

ご注意

- バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

■ 電源を切るときは…

ソースボタンを押し続けてください(約1秒間)。

ソースを選ぶ

1 ソースボタンを押す

■POWER

SRC

→ 押すたびに、次のように切り換わります。

ラジオ → (MDデッキ) → DVD
↑ ↓
AUX → (TV) → (CDチェンジャー)

- 接続していない機器のモードは表示されません。

音量を調節する

1 ロータリーボリュームを回す



ご注意

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

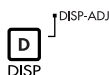
時刻を合わせる

時計表示について…

本機は、車のエンジン作動時(ACC ON時)に時計を表示します。時計は12時間表示です。

ナビゲーション接続時は、時刻データがナビゲーションから送られてくるため、時刻の調整はできません。ディスプレイジャストモードの「**CLOCK**」は表示されません。

1 ディスプレイボタンを押し続ける (約1秒間)



→タイトル表示部に前回調整した項目「**CLOCK**」等を表示して、ディスプレイジャストモードになります。

2 サーチレバーを上下に動かして、 「**CLOCK**」を選ぶ



3 プレイ/ポーズボタンを押す



→調整時点「**PM 2:20**」等の時刻を表示し、時刻設定モードになります。

- 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

4 サーチレバーを上下に動かして、時または分を選ぶ



→点滅している項目が調整できます。

5 ロータリーボリュームを回して、時刻 を合わせる



6 プレイ/ポーズボタンを押す



→「ピー」と鳴って、時刻が設定されます。

ご注意

- 電源OFF状態での時間表示のときは、時計を設定することはできません。
- 点検や修理などでバッテリーを外したときには、もう一度、時刻合わせをしてください。

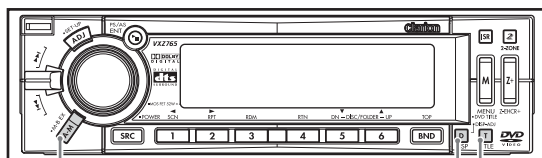
7 ディスプレイボタンを押して、元の モードに戻る



■常時、時計表示するには…

ディスプレイボタンを押して、時計表示に設定します。また、スクリーンセーバーの設定がONの場合はOFFにしてください。詳しくは「スクリーンセーバーを設定する」(67ページ)をご覧ください。

■基本の操作

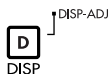


オーディオモードボタン

タイトルボタン
ディスプレイボタン

表示を切り換える

- 1 ディスプレイボタンを押して、表示を選ぶ



→押すたびに、次のように切り換わります。

メイン表示 (タイトル表示など)

時計表示

●時計表示



時計表示状態で電源をOFFにすると時計表示をします。

●スクリーンセーバー

スクリーンセーバー機能が「SS ON」または「SS MESSAGE」に設定されているときに、タイトルまたは時刻を30秒間表示した後、設定されているスクリーンセーバーパターンを表示します。詳しくは、「スクリーンセーバーを設定する」(67ページ)をご覧ください。

■表示をOFFにするには…

ディスプレイモードボタンを押し続けます。(約4秒間)

タイトルをスクロールさせる

タイトルスクロールについて…

スクロールの設定がONのときは、自動でスクロールします。設定については「タイトルスクロール方法を設定する(SCROLL)」(68ページ)をご覧ください。

- 1 スクロール方法の設定がOFFのときは、タイトル表示中に、タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



→タイトルが左にスクロールします。

ご注意

- ・ユーザータイトル「USER TITL」を選択している場合は、タイトルスクロールはしません。このときタイトルボタンを押し続けると、タイトル入力モードになりますので、ご注意ください。

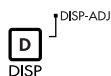
タイトル表示を切り換える

タイトル表示について…

MP3/WMA再生時に、フォルダ名またはファイル名、TAG情報をディスプレイに表示します。

CDテキストおよびMD再生時に、ディスクに登録されているディスクタイトル、トラックタイトル、アーティスト名(CDテキストのみ)をディスプレイに表示します。MDデッキ再生時は、グループタイトルを表示します。

1 ディスプレイボタンを押して、メイン表示を選ぶ

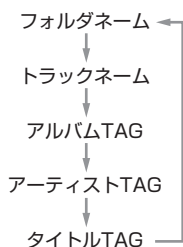


2 タイトルボタンを押す

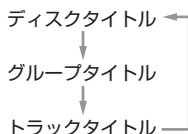


→押すたびに、次のように切り換わります。

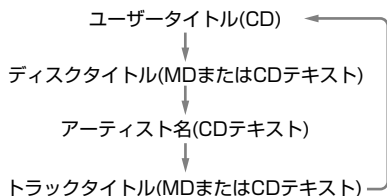
●MP3/WMA 再生時



●MD デッキ再生時



●音楽 CD 再生時



ご注意

- 本機は、英/数/記号表示のみのためタイトルにより正しく表示できない場合があります。

重低音をON/OFFする (マグナベースEX機能)

小音量でお聴きになるときは…

小音量でお聴きになるときは、重低音を強調するマグナベースEXの音質効果をおすすめします。

※初期設定は「OFF」です。

ご注意

- この機能は、システムチェック時のスピーカー設定が「5.1ch」の場合、DVDビデオ/DTS-CD再生中は設定できません。
- この機能は、「ドルビープロロジックデコードの処理を設定する」(64ページ)で「ON」を選択した場合は、設定できません。

1 オーディオモードボタンを押し続ける (約1秒間)

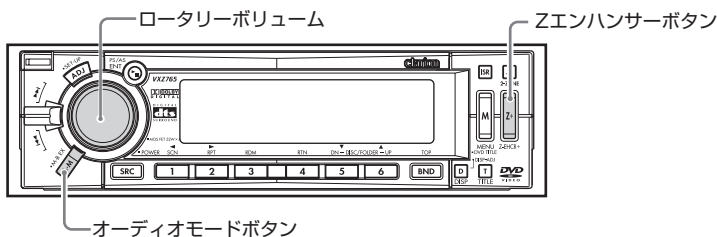


→ONになると、「M-B EX」が点灯します。

■マグナベースEXをOFFにするには…

もう一度、オーディオモードボタンを押し続けます。(約1秒間)

■基本の操作



音質を簡単に設定する(Zエンハンサープラス機能)

Zエンハンサープラス機能について…

本機は、3種類の音質効果をメモリーしてあります。お好みの音質を設定してお楽しみください。

- **B-BOOST :**
低音を重視したサウンド
- **IMPACT :**
低音と高音を強調したサウンド
- **EXCITE :**
低音と高音を更に強調したサウンド

※初期設定は「**Z+ OFF**」です。

ご注意

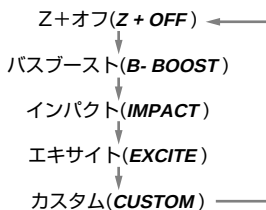
- この機能は、システムチェック時のスピーカー設定が「**5.1ch**」の場合、DVDビデオ/DTS-CD再生中は設定できません。
- この機能は、「ドルビープロロジックデコードの処理を設定する」(64ページ)で「**ON**」を選択した場合は、設定できません。

1 Zエンハンサーボタンを押して、お好みの音質を選ぶ



Z-EHCR+

→ 押すたびに、次のように切り換わります。



■Z+オフ(Z+OFF)について…

Z+オフは、原音のまま、お聴きになりたいときにご使用ください。

■カスタム(CUSTOM)について…

カスタムは、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。「音質を調整する(バス/トレブル)」(30ページ)の手順で、お好みの音質に調整してください。

■カスタムの設定値を初期値に戻すには…

Zエンハンサーボタンを押し続けてください(約1秒間)「**Z+FLAT**」の表示をして、BASS/TREBLEの設定値が初期値に戻ります。

センタースピーカー出力の音量を調節する

この機能は、「スピーカーの有無を設定する」(60ページ)でセンタースピーカーの設定が「ON」のときに調整できます。

- システムチェック時のスピーカー設定を「2ch」に設定した場合は、表示されません。

※初期設定は、「0」です。

ご注意

- この機能は、システムチェック時のスピーカー設定が「5.1ch」の場合、DVDビデオ/DTS-CD再生中は設定できません。
- この機能は、「ドルビープロロジックデコードの処理を設定する」(64ページ)で「ON」を選択した場合は、設定できません。

1 オーディオモードボタンを押して、「C-VOL」を選ぶ



2 ロータリーボリュームを回して出力音量を調整する



- 設定範囲は、OFF、-4 ～+8 です。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻る



サブウーファー出力の音量を調節する

この機能は、「スピーカーの有無を設定する」(60ページ)でサブウーファーの設定が「ON」のときに調整できます。

※初期設定は、「0」です。

ご注意

- この機能は、システムチェック時のスピーカー設定が「5.1ch」の場合、DVDビデオ/DTS-CD再生中は設定できません。
- この機能は、「ドルビープロロジックデコードの処理を設定する」(64ページ)で「ON」を選択した場合は、設定できません。

1 オーディオモードボタンを押して、「SW- VOL」を選ぶ



2 ロータリーボリュームを回して出力音量を調整する

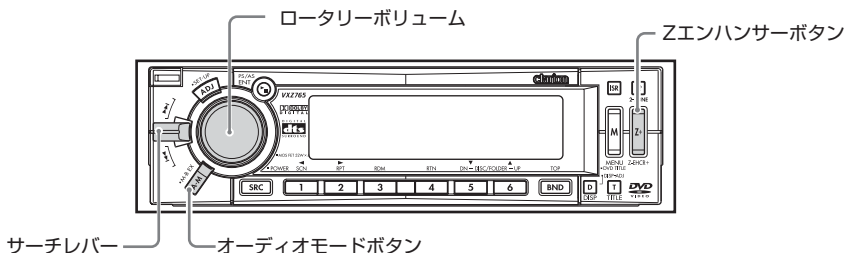


- 設定範囲は、OFF、-6 ～+6 です。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻る



基本の操作



Z エンハンサープラス効果を調整する

Z エンハンサープラス機能がBASS BOOST(バスブースト)、IMPACT(インパクト)あるいはEXCITE(エキサイト)のときに調整できます。

ご注意

- この機能は、システムチェック時のスピーカー設定が「**5.1ch**」の場合、DVDビデオ/DTS-CD再生中は設定できません。
- この機能は、「ドルビープロロジックデコードの処理を設定する」(64ページ)で「**ON**」を選択した場合は、設定できません。

1 オーディオモードボタンを押して、Z エンハンサープラス調整項目「**B-BOOST/IMPACT/EXCITE**」を選ぶ



→ 押すたびに、次のように切り換わります。

センタースピーカー出力調整(**C-VOL**)

サブウーファー出力調整(**SW-VOL**)

Zエンハンサープラスの調整
Zエンハンサープラスの項目名を表示します
(**B-BST**)
(**IMPACT**)
(**EXCITE**)

バランス調整(**BAL**)

フェダー調整(**FAD**)

元のモード

2 ロータリーボリュームを回して、Z エンハンサープラス効果を調整する



- 調整範囲は、-3 ~ +3 です。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻る



音質を調整する(バス/トレブル)

この機能は、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。Z エンハンサープラス機能がカスタム「**CUSTOM**」のときに設定できます。

ご注意

- この機能は、システムチェック時のスピーカー設定が「**5.1ch**」の場合、DVDビデオ/DTS-CD再生中は設定できません。
- この機能は、「ドルビープロロジックデコードの処理を設定する」(64ページ)で「**ON**」を選択した場合は、設定できません。

1 Z エンハンサー ボタンを押して、「**CUSTOM**」を選ぶ

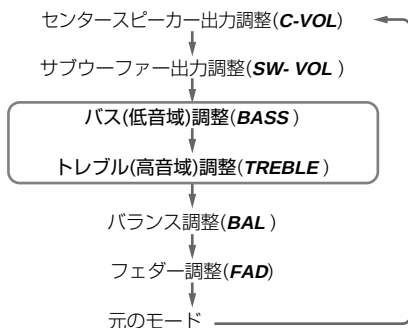


Z-EHCR+

2 オーディオモードボタンを押して、調整項目「BASS、TREBLE」等を選ぶ



→押すたびに、次のように切り換わります。



3 ロータリーボリュームを回して「GAIN」(ゲイン)を調整する



- BASS(低音域)調整範囲は、-6 ~+8です。
- TREBLE(高音域)調整範囲は、-6 ~+6 です。

4 サーチレバーを上下に動かして、「F」(周波数)または「Q」(カーブ)を選ぶ



5 ロータリーボリュームを回して「F」(周波数)または「Q」(カーブ)を調整する



• BASS (低音域)

周波数(FREQ) :50Hz,80Hz,120Hz

Q カーブ(Q) :1, 1.25, 1.5, 2

• TREB (高音域)

周波数(FREQ) :8kHz,12kHz

Q カーブ(Q) :1 (固定、調整できません)

6 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻す

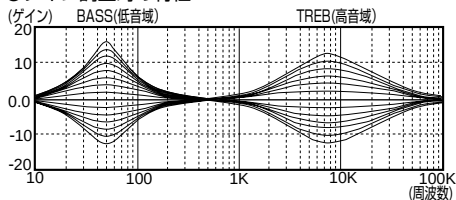


■ 初期値に戻すには…

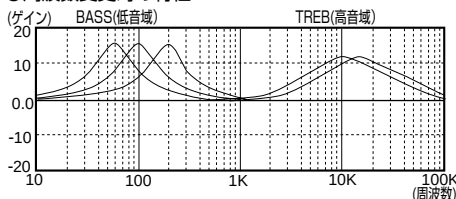
Zエンハンサーボタンを押し続けてください(約1秒間)「Z+FLAT」の表示をして、BASS/TREBLEの設定値が初期値に戻ります。

※次の特性図表を参考にバスおよびトレブルを調整し、お好みの音質に調整してみてください。

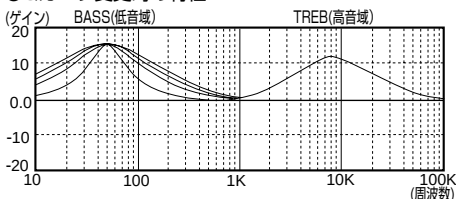
●ゲイン調整時の特性



●周波数変更時の特性

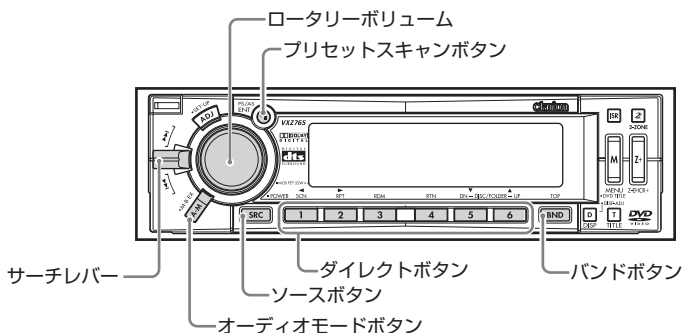


●Qカーブ変更時の特性



※ Qカーブ(Q)は数値を大きくすると鋭く、小さく設定すると緩やかなカーブになります。

基本の操作



バランス/フェダーを調整する

ご注意

- この機能は、システムチェック時のスピーカー設定が「**5.1ch**」の場合、DVDビデオ/DTS-CD再生中は設定できません。
- この機能は、「ドルビープロロジックデコードの処理を設定する」(64ページ)で「**ON**」を選択した場合は、設定できません。

1 オーディオモードボタンを押して、「BAL」または「FAD」を選ぶ



→ 押すたびに、次のように切り換わります。

センタースピーカー出力調整 (**C-VOL**)

サブウーファー出力調整 (**SW-VOL**)

Z+の設定で表示が変わります。

- 「**B-BST**」, 「**IMPACT**」または「**EXCITE**」を選択したときは、その選択項目名を表示します。
- 「**CUSTOM**」を選択したときは、(**BASS**)(**TREBLE**)

バランス調整 (**BAL**)

フェダー調整 (**FAD**)

元のモード

2 ロータリーボリュームを回して、音量を調整する

■ バランスの調整 (左右のスピーカ音量)



- 調整範囲は、**L13** ~ **R13** です。

■ フェダーの調整 (前後のスピーカ音量)



- 調整範囲は、**F12** ~ **R12** です。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻る



ラジオを聴く

ラジオモードを選ぶ

1 ソースボタンを押して、ラジオモードを選ぶ

■POWER

SRC

→ラジオモードになると、受信を始めます。

受信バンドを切り換える

1 バンドボタンを押して、受信バンドを切り換える

TOP

BND

→押すたびに、バンドが切り換わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2

本機
の
操
作

自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について…

自動受信した放送局を、ダイレクトボタン(1～6)に自動的に登録します。

1 バンドボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ

TOP

BND

2 プリセットスキャンボタンを押し続ける(約2秒間)

PS/AS
ENT



→タイトル表示部に「A-STORE」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。自動的に、受信感度の良い放送局がダイレクトボタン(1～6)に登録されていきます。

- ・各受信バンド(FM1,2/AM1,2)それぞれ登録してください。

で注意

- ・自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- ・登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しそれでも6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…

ダイレクトボタン(1～6)にお好みの放送局を登録できます。プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

1 バンドボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ

TOP

BND

2 サーチレバーを上下に動かして、メモリーしたい放送局を選ぶ



3 メモリーさせたいダイレクトボタン(1～6)を押し続ける(約2秒間)

SCN

1

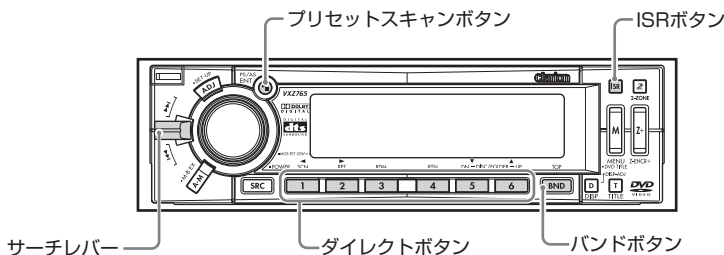
～

FOLDER UP

6

→押し続けると「ピー」と鳴り、その時、押したダイレクトボタンに登録されます。

ラジオを聴く



自動選局する(シーク選局)

- 1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

- 2 サーチレバーを上下に動かす。



→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

- 1 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

- 2 サーチレバーを上下に動かして、放送のあるところに合わせる



→手動選局には、ステップ選局とクイック選局があります。

- ステップ選局のときは、サーチノブを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、サーチノブを押し続けると、周波数が連続して切り換わり、お好みの周波数に合わせることができます。

プリセット選局する

プリセット選局について…

ダイレクトボタンに登録されている放送局を選局します。

1 ダイレクトボタン(1～6)を押して、聴きたい放送局を選ぶ



→ディスプレイに放送局名とプリセットNo.を表示します。

ご注意

- ダイレクトボタンを押し続け(約2秒間)ないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局を登録します。

放送を確かめる (プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンに登録されている放送局を順に受信します。

1 プリセットスキャンボタンを押す



→タイトル表示部に「**P-SCAN**」を表示しプリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- メモリーしている放送局を順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

プリセットスキャンを解除する場合は、もう一度、プリセットスキャンボタンを押してください。

ご注意

- プリセットスキャンボタンを押し続けると(約2秒間)、オートストア機能になります。ご注意ください。

特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能について…

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。

※初期設定では、「**AM1620kHz**」の交通情報がメモリーされています。

1 ISRボタンを押す



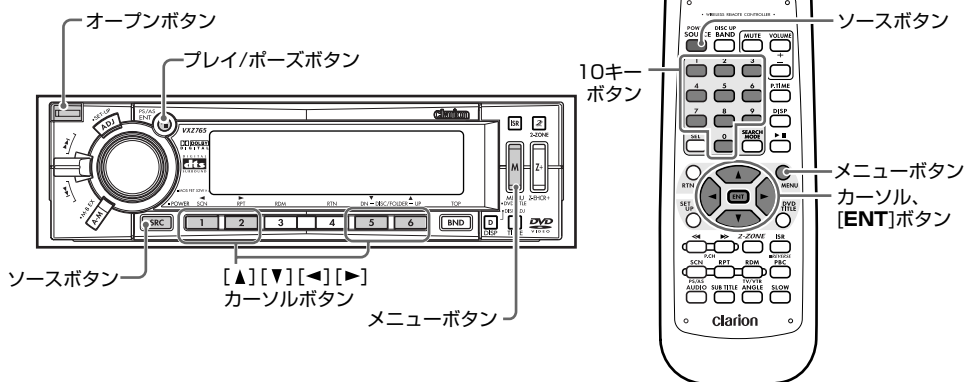
→ディスプレイに「**ISR**」を表示します。

元に戻す場合は、もう一度、ISRボタンを押すか、またはソースボタンを押してください。

■ ISRにメモリーするには…

ラジオモードで、登録したい放送局を選局し、ISRボタンを押し続けます(約2秒間)。

DVDを見る



ディスクを入れる

ディスク・イン・プレイ機能について…

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであればディスクを入れると、自動的に電源が入り、再生をはじめます。

⚠ 注意

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

ご注意

- ディスクがスムーズに挿入口に入らない場合は、本機に他のディスクが入っているか、修理が必要な場合が考えられます。

■シングルDVD/CD(8cm)について…

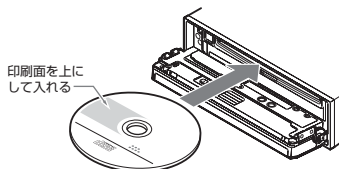
本機では、シングルDVD/CDは使用できません。

また、本機で再生可能なディスクについては、12ページをご覧ください。

1 オープンボタンを深く押して、フロントパネルを開く



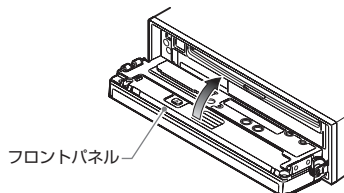
2 挿入口にディスクを入れる



→ ディスクを入れると、タイトル表示部に「LOADING」を表示したのち、「F- READ」を表示して再生が始まります。

- ディスクの種類にかかわらず、「F- READ」と表示されます。

3 フロントパネルを閉める



→ 必ずフロントパネルを閉めてください。

ディスクを取り出す

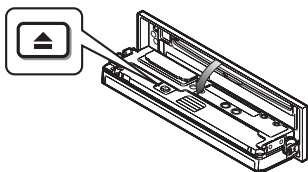
バックアップイジェクト機能について...

本機の電源が入っていない状態からでもイジェクトボタンを押すと、ディスクを取り出すことができます。

- 1 オープンボタンを深く押して、フロントパネルを開く



- 2 イジェクトボタンを押す



→ディスクがイジェクトされたら、取り出します。

- 3 フロントパネルを閉める

→必ずフロントパネルを閉めてください。

DVDモードを選ぶ

- 1 ソースボタンを押して、DVDモードを選ぶ

■POWER

SRC

→ディスクが入っている場合、自動的に再生が始まります。

- ディスクが入っていないときは、タイトル表示部に「NO DISC」と表示します。

- DVDモード時の表示（モニター画面上）

⊘ INVALID

: ボタン操作を受け付けない場合は、「INVALID」を表示します。

DVDビデオを再生する

- 1 ディスク挿入後、自動的に再生を開始します。

→DVDメニュー画面が表示されます。

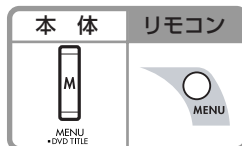


警告

運転者がDVDビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車してください。

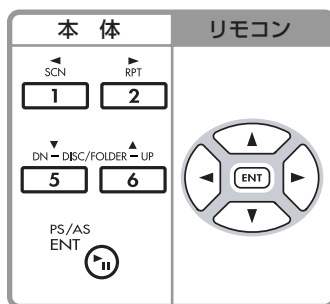
DVDメニューを選ぶ

- 1 メニューボタンを押す



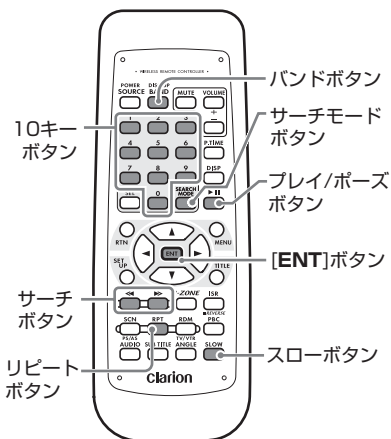
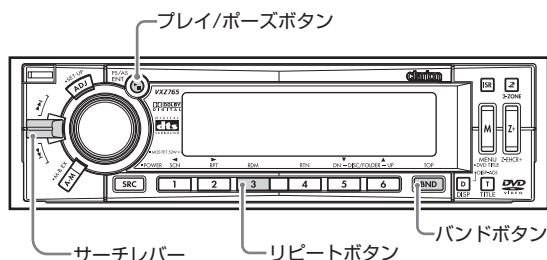
→DVDメニュー画面が表示されます。

- 2 [▲][▼][◀][▶]ボタンや、リモコンの10キーボタンで項目を選び、プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押す



- ディスクによっては10キーボタンでは項目が選べな場合があります。

DVDを見る



再生を停止する

- 1 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約1秒間)

本体	リモコン
PS/AS ENT 	

→再生が止まります。

元に戻す場合は、もう一度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

→ディスクの先頭から再生が始まります。

再生を一時停止する

- 1 プレイ/ポーズボタンを押す

本体	リモコン
PS/AS ENT 	

→再生が一時停止します。

元に戻す場合は、もう一度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

→止めた位置から再生が始まります。

スロー再生をする

- 1 リモコンのスローボタンを押し続ける。または一時停止中に[>>>]ボタンを押し続ける

本体	リモコン
一時停止中に 	再生中に 一時停止中に SLOW または

→サーチレバー/ボタンを押している間、1/3倍速でスロー再生します。

- ・戻す方向では、スロー再生できません。また、スロー再生中は、音声はできません。

早送り/早戻しする

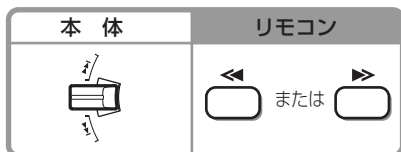
- 1 サーチレバー/ボタンを押し続ける(1秒以上)

本体	リモコン
	または

→サーチレバー/ボタンを押し続けると、最初は5倍速、3秒後に20倍速になり、ボタンを離すと通常再生になります。

チャプターを選ぶ

1 サーチレバー/ボタンを押す



→押した回数だけチャプターがスキップして、再生が始まります。

- サーチレバーを上または[▶▶]ボタンを押すと、1つ先のチャプターの頭から再生します。
- サーチレバーを下または[◀◀]ボタンを押すと、現在のチャプターの頭から再生します。約3秒以内にもう一度このボタンを押すと、1つ前のチャプターの頭から再生します。

最初のチャプターから見る

1 バンドボタンを押す

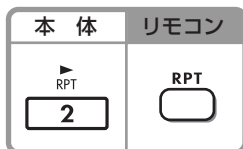


→ タイトルの最初のチャプター(No.1)から再生が始まります。

同じチャプターを繰り返し見る(リピート再生)

チャプターリピートについて…
1つのチャプターを繰り返し再生します。

1 リピートボタンを押す



元に戻す場合は、もう一度、リピートボタンを押してください。

チャプター/タイトル番号で頭出する<リモコン操作のみ>

DVDビデオに記録されているチャプター番号またはタイトル番号から頭出しします。

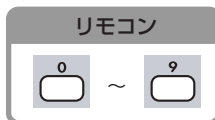
1 サーチモードボタンを押す



→押すたびにチャプター番号入力「Chapter」とタイトル番号入力「Title」と切り換わります。

- **チャプター**
ディスクのデータ領域を分けるための小さな区切り(チャプター)です。
- **タイトル**
ディスクのデータ領域を分けるための大きな区切り(タイトル)です。

2 再生させたいチャプター/タイトル番号を10キーボタン(0~9)で入力する

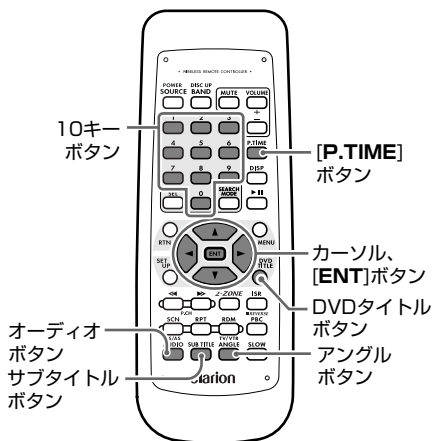


3 [ENT]ボタンを押す



→入力された番号から再生します。

DVDを見る



音声言語を切り換える ＜リモコン操作のみ＞

複数の音声言語が記録されているDVDビデオの場合、再生中に音声の言語を切り換えることができます。

1 オーディオボタンを押す



→押すたびに音声言語が切り換わります。

- ディスクによっては、最大8種類の音声が入っています。詳しくはディスクのマーク (8) : 音声が入る8種類の場合) をご覧ください。
- 電源を入れたときやディスクを入れ換えたときは、本機の工場出荷時に設定された言語になります。またその言語が記録されていない場合には、ディスク側で決められた言語になります。
- ディスクによっては全く切り換えられない場合や、切り換えできない場面があります。
- 音声の切り換えに多少時間がかかることがあります。

字幕言語を切り換える ＜リモコン操作のみ＞

複数の字幕言語が記録されているDVDビデオの場合、再生中に字幕の言語を切り換えることができます。

1 サブタイトルボタンを押す



→押すたびに字幕言語が切り換わります。

- ディスクによっては、最大32種類の字幕が記録されています。詳しくはディスクのマーク (8) : 字幕が入る8種類の場合) をご覧ください。
- ディスクによっては全く切り換えられない場合や、切り換えできない場面があります。
- 字幕の切り換えに多少時間がかかることがあります。

アングルを切り換える ＜リモコン操作のみ＞

複数のアングル(角度)で映像が記録されているDVDビデオの場合、再生中にアングルを切り換えることができます。

1 アングルボタンを押す



→押すたびにアングルが切り換わります。

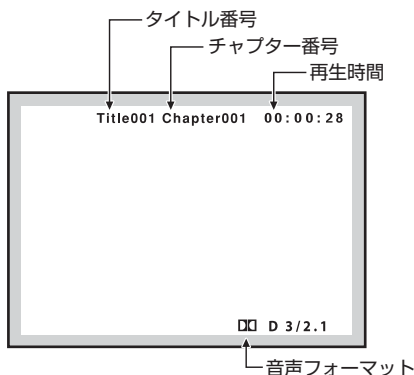
- ディスクによっては、最大9アングルが記録されています。詳しくはディスクのマーク (8) : マルチアングルの場合) をご覧ください。
- ディスクにより、つなぎめなくスムーズに切り換わるものと、切り換えたときに一瞬静止画になるものがあります。
- ディスクによっては全く切り換えられない場合や、切り換えできない場面があります。
- アングルが切り換わるまで、多少時間がかかることがあります。
- ディスクにより、複数のアングルで記録された場面を再生することもあります。

再生状態を表示させる ＜リモコン操作のみ＞

1 [P.TIME]ボタンを押す



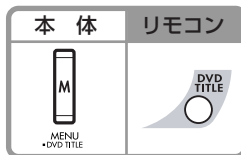
→押すたびに表示(ON)と非表示(OFF)に切り換わります。



タイトルメニューを選ぶ

複数のタイトルが入っているDVDビデオの場合、タイトルメニューから選択して再生することができます。

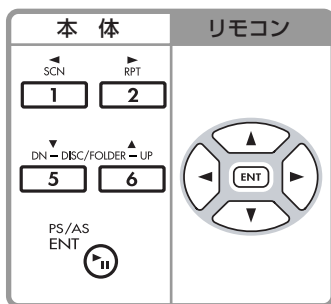
1 リモコンのDVDタイトルボタンを押す。または、本機のメニューボタン押し続ける(約1秒間)



→タイトルメニュー画面が表示されます。

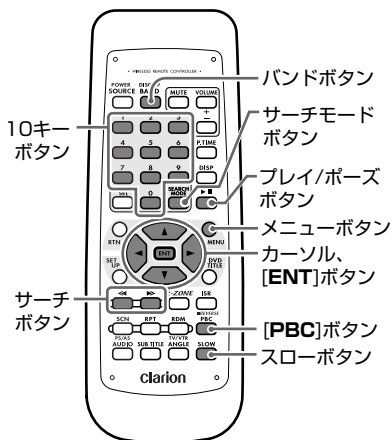
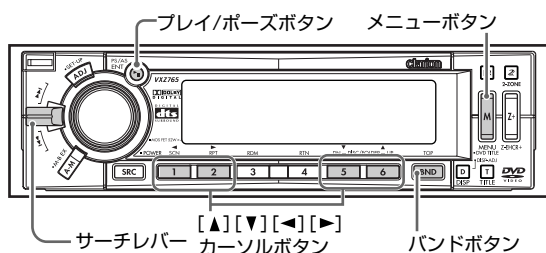
- ディスクの内容、種類によってはボタン操作を受けつけない場合があります。

2 [▲][▼][◀][▶]ボタンや、リモコンの10キーボタンで項目を選び、プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押す



- ディスクによっては10キーボタンでは項目が選べない場合があります。

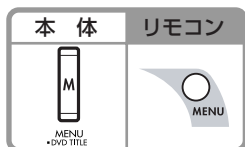
ビデオCDを見る



ビデオCDメニューを選ぶ

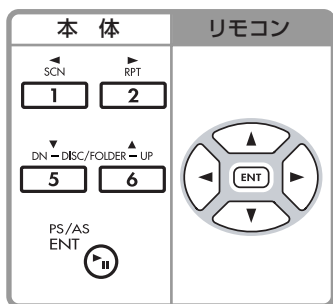
- PBCがONの場合、ビデオCDメニューを選ぶことができます。

1 メニューボタンを押す



→ビデオCDメニュー画面が表示されます。

2 [▲][▼][◀][▶]ボタンや、リモコンの10キーボタンで項目を選び、プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押す



- ディスクによっては10キーボタンでは項目が選べな場合があります。

再生操作(PBC)をON/OFFさせる <リモコン操作のみ>

PBC(Play Back Control)機能について…

PBC機能があるビデオCDでは、PBCをON/OFFさせることができます。
※初期設定は、「ON」です。

1 [PBC]ボタンを押す



→押すたびにON/OFFに切り換わります。

- PBCのON/OFFごとに、ディスクの先頭からの再生となります。

再生を一時停止する

1 プレイ/ポーズボタンを押す



→再生が一時停止します。

元に戻す場合は、もう一度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

→止めた位置から再生が始まります。

スロー再生をする

- 1 リモコンのスローボタンを押し続ける。または一時停止中に[▶▶]ボタンを押し続ける

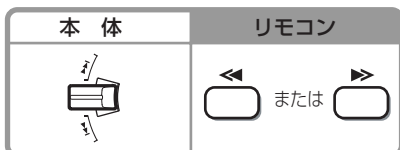


→サーチレバー/ボタンを押している間、1/3倍速でスロー再生します。

- 戻す方向では、スロー再生できません。また、スロー再生中は、音声はできません。

早送り/早戻しする

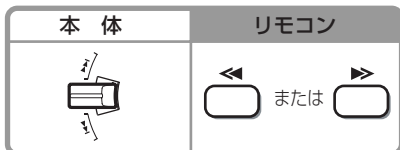
- 1 サーチレバー/ボタンを押し続ける(1秒以上)



→サーチレバー/ボタンを押し続けると、最初は5倍速、3秒後に20倍速になり、ボタンを離すと通常再生になります。

トラックを選ぶ

- 1 サーチレバー/ボタンを押す



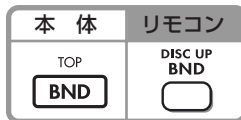
→押した回数だけトラックがスキップして、再生が始まります。

- サーチレバーを上または[▶▶]ボタンを押すと、1つ先のトラックの頭から再生します。
- サーチレバーを下または[◀◀]ボタンを押すと、現在のトラックの頭から再生します。約2秒以内にもう一度このボタンを押すと、1つ前のトラックの頭から再生します。

最初のトラックから見る

- PBC OFFの場合に操作できます。

- 1 バンドボタンを押す



→最初のトラック(No.1)から再生が始まります。

トラック番号で頭出しする <リモコン操作のみ>

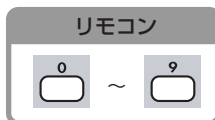
ビデオCDに記録されているトラック番号から頭出しします。

- PBC OFFの場合に操作できます。

- 1 サーチモードボタンを押す



- 2 再生させたいトラック番号を10キーボタン(0~9)で入力する

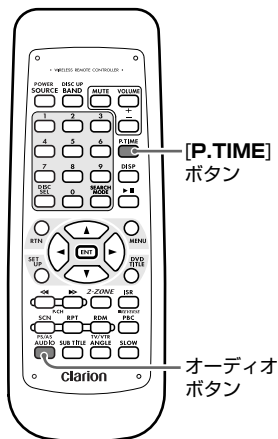


- 3 [ENT]ボタンを押す



→入力された番号から再生します。

ビデオCDを見る



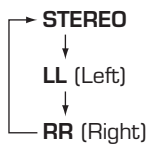
音声を切り換える <リモコン操作のみ>

音声の出力方式を切り換えることができます。

1 オーディオボタンを押す



→押すたびに次のように切り換わります。

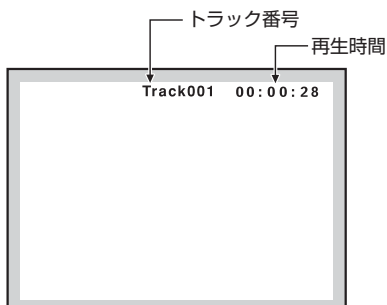


再生状態を表示させる <リモコン操作のみ>

1 [P.TIME]ボタンを押す



→押すたびに表示(ON)と非表示(OFF)に切り換わります。



CD/MP3/WMAを聴く

MP3/WMAについて

●MP3とは

- MPEG 規格のオーディオ・レイヤー 3(MPEG audio layer3)に分類される音声圧縮方式で、パソコンユーザーの間で同方式は標準フォーマットとして浸透しています。
オリジナルの音声データを約 1/10 のデータ量にまで圧縮でき、更に高音質なのが特長です。1 枚の CD-R/RW ディスクに、CD 約 10 枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

●WMAとは

- 「Windows Media Audio」の略で、マイクロソフトが開発したオーディオファイルのことです。
- WMA の DRM (著作権保護) が ON のままのファイルを再生した場合は、音声が出力されません。このとき、「DRM」を表示して再生を一時停止します。「WMA」インジケーターが点滅します。

●DRM(著作権保護)の解除方法について

- Windows Media Player 9 ご利用時は、「ツール」「オプション」「音楽の録音」のタブで、「録音設定」の中の「保護された音楽を録音する」のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。
- Windows Media Player 10 ご利用時は、「ツール」「オプション」「音楽の取り込み」のタブで、「取り込みの設定」の中の「取り込んだ音楽を保護する」のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。
- 作成した WMA ファイルにおいては、個人の責任において実施してください。

●MP3/WMA ディスク作成時のご注意

再生可能なサンプリングレート・ビットレート

- MP3 の場合のサンプリングレートは、32kHz～48kHz、ビットレートは、8kbps～320kbps/VBR です。
- WMA の場合のビットレートは、32kbps～192kbps です。

ファイル拡張子

- ファイル拡張子には、必ず半角文字で拡張子「.MP3」「.WMA」「.mp3」「.wma」を付けてください。それ以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合には、再生できません。
- サポートされていないビットレートで作成された MP3/WMA ファイルを再生した場合、「NOT SPRT」を表示して一時停止します。

論理フォーマット(ファイルシステム)

- MP3/WMA ファイルを CD-R/RW に記録する場合、ライティングソフトのフォーマット設定は「ISO9660(レベル 1,2,)」、JOLIET、ROMEO」を選択してください。他のフォーマットで記録した場合には正常に再生しない場合があります。
- MP3/WMA 再生ではフォルダ名、ファイル名、TAG をタイトルとして表示することが可能ですが、名称は、半角英数/記号 (ASCII) までとなります。それ以外の文字を入力した名称は、正しく表示しない場合があります。
- 同一フォルダ内に、同じファイル名を付けないでください。

フォルダ階層

- フォルダが 8 階層を超えたディスクについては、再生できません。

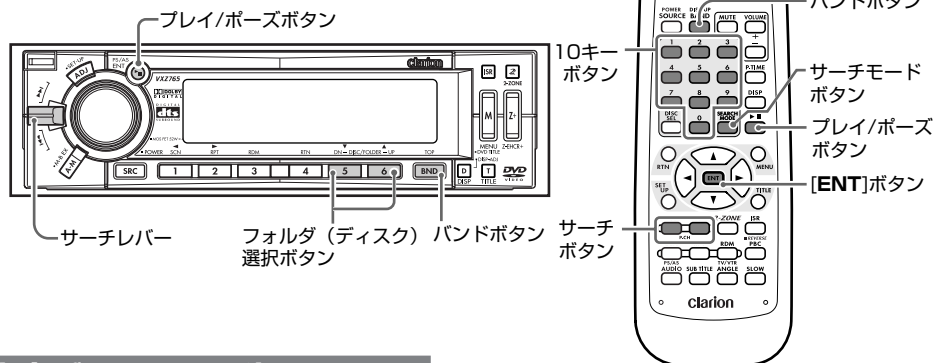
ファイル/フォルダ数

- 255 フォルダ、512 ファイルまで再生可能です。ただし、1 つのフォルダ内に 512 ファイルが入っている場合は、そのフォルダ以降のフォルダは再生されません。
- 曲の演奏はディスクに記録した順番に行われます。(パソコン上で表示される順番通りに演奏されるとは限りません。)
- 記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合。または、再生ができない場合があります。
- 読み込めないファイルは、そのファイルは飛ばして、次ファイルを再生する場合があります。

TAG 表示について

- TAG のない MP3/WMA フォルダは「NO TAG」が表示されます。
- MP3 の場合は、ID3-TAG V2.4/2.3/1.1/1.0 に対応しています。TAG 表示は、V2.4/2.3 を優先します。
- WMA の場合、アルバム TAG は、拡張ヘッダーに書き込まれた情報を表示します。
- TAG で表示可能な文字は、半角英数/記号 (ASCII) です。

CD/MP3/WMAを聴く

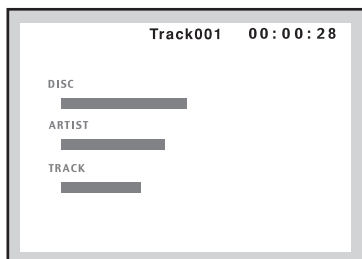


音楽ディスクを再生する

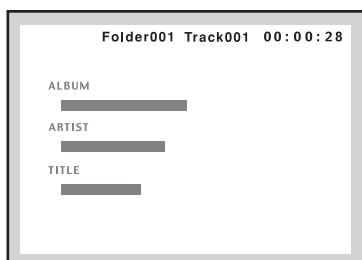
1 ディスク挿入後、自動的に再生を開始します。

- 本機はCDテキスト対応モデルです。
- CD-TEXT-TAGは英数字のみ対応しております。また、文字データによっては正しく表示されない場合もあります。

●CD TEXT表示



●WMA/ID3TAG表示



再生を一時停止する

1 プレイ/ポーズボタンを押す



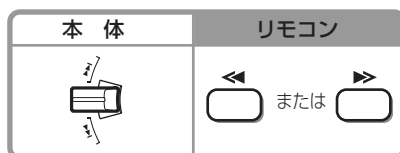
→再生が一時的に停止します。

元に戻す場合は、もう一度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

→止めた位置から再生が始まります。

早送り/早戻しする

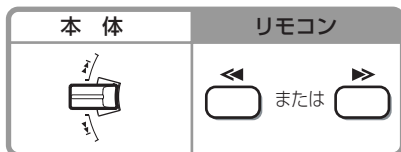
1 サーチレバー/ボタンを押し続ける(1秒以上)



→サーチレバー/ボタンを押し続けると、最初は5倍速、3秒後に20倍速になり、ボタンを離すと通常再生になります。

曲を選ぶ

1 サーチレバー/ボタンを押す



→ 押した回数だけトラックがスキップして、再生が始まります。

- サーチレバーを上または[▶▶]ボタンを押すと、1つ先のトラックの頭から再生します。
- サーチレバーを下または[◀◀]ボタンを押すと、現在のトラックの頭から再生します。約2秒以内にもう一度このボタンを押すと、1つ前のトラックの頭から再生します。

最初の曲から聴く

再生しているディスクまたはフォルダの最初の曲から再生を始めます。

1 バンドボタンを押す



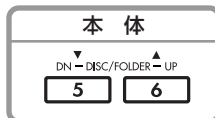
→ 最初の曲(No.1)から再生が始まります。

- MP3/WMAディスクのときは、フォルダの最初の曲から再生が始まります。

フォルダを選ぶ(本体操作のみ)

MP3/WMAディスク再生時、MP3/WMAファイルのあるフォルダを選択します。

1 フォルダ(ディスク)選択ボタンを押す



→ [5 DN]を押したときは、前のフォルダに、[6 UP]を押したときは、次のフォルダに移ります。

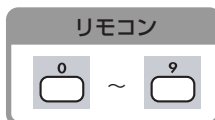
トラック/フォルダ番号で頭出しする <リモコン操作のみ>

1 サーチモードボタンを押す



→ 押すたびにトラック番号入力「Track」とフォルダ番号入力「Folder」と切り換わります。

2 再生させたいトラック/フォルダ番号を10キーボタン(0~9)で入力する

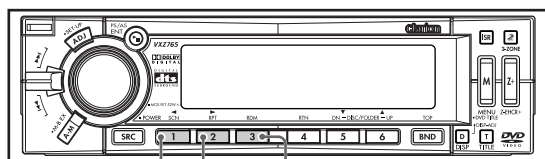


3 [ENT]ボタンを押す

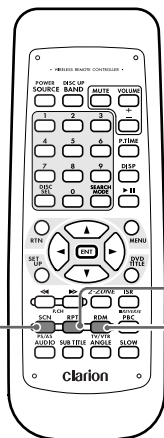


→ 入力された番号から再生します。

CD/MP3/WMAを聴く



スキャン ボタン リピート ボタン ランダム ボタン



スキャン ボタン

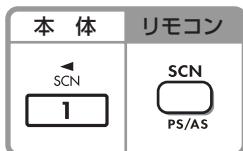
リピート ボタン ランダム ボタン

聴きたい曲を探す (スキャン再生)

スキャン再生について…

ディスクに収録されている全曲を約10秒間ずつ再生します。

1 スキャンボタンを押す



→再生している曲の次の曲からスキャン再生をします。

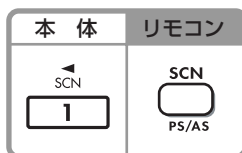
元に戻す場合は、もう一度、スキャンボタンを押してください。

聴きたいフォルダを探す (フォルダスキャン再生)

フォルダスキャン再生について…

収録されている全フォルダの最初の曲を約10秒間ずつ再生します。

1 スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)



→再生している曲の次のフォルダからスキャン再生をします。

元に戻す場合は、もう一度、スキャンボタンを押してください。

1 曲を繰り返し聴く (リピート再生)

リピート再生について…

再生中の曲を繰り返し再生します。

1 リピートボタンを押す



→ リピート再生をします。

元に戻す場合は、もう一度、リピートボタンを押してください。

フォルダ内の曲を繰り返し聴く (フォルダリピート再生)

フォルダリピート演奏について…

再生中のフォルダ内の曲を繰り返し再生します。

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)



→ フォルダリピート再生をします。

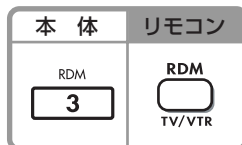
元に戻す場合は、もう一度、リピートボタンを押してください。

ランダムに曲を聴く (ランダム再生)

ランダム再生について…

ディスクに収録されている曲を順不同に再生します。

1 ランダムボタンを押す



→ ランダム再生をします。

- MP3/WMAディスクのときは、一つのフォルダをランダムに再生します。

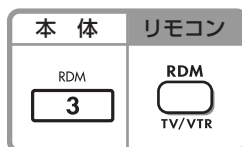
元に戻す場合は、もう一度、ランダムボタンを押してください。

全フォルダの曲をランダムに 聴く(フォルダランダム再生)

フォルダランダム演奏について…

収録されている全てのフォルダの曲を順不同に再生します。

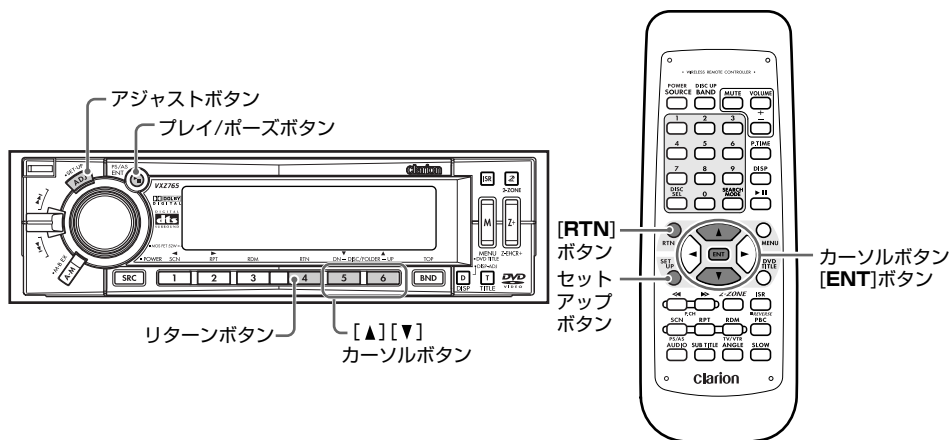
1 ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)



→ フォルダランダム再生をします。

元に戻す場合は、もう一度、ランダムボタンを押してください。

DVDビデオ関連の初期設定を変更する

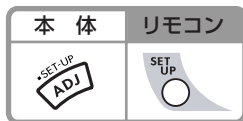


セットアップメニューを選ぶ

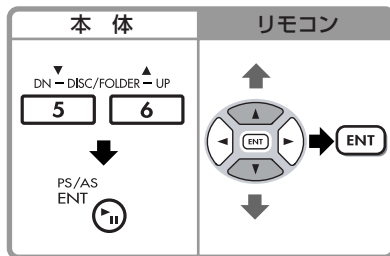
ご注意

- セットアップメニューは、DVDモード中に表示します。
- 本項のメニュー設定はモニターに表示されます。

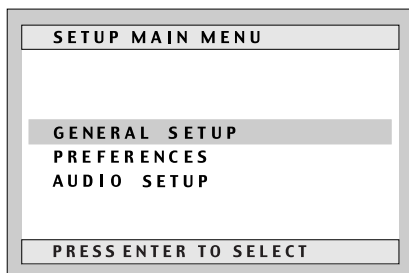
1 アジャストボタンを押し続ける(約1秒間)。またはリモコンのセットアップボタンを押す



2 [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して「GENERAL SETUP」「PREFERENCES」「AUDIO SETUP」のメインメニューを選び、プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押す

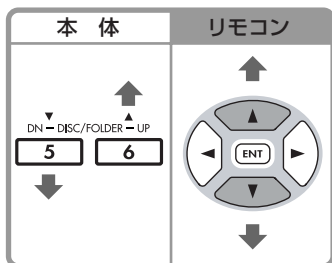


●メインメニュー



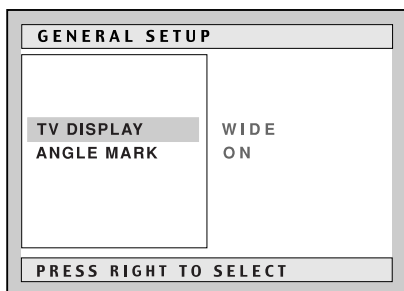
次ページに続く➡

3 ▲ボタンまたは[▼]ボタンを押してサブメニューを選ぶ

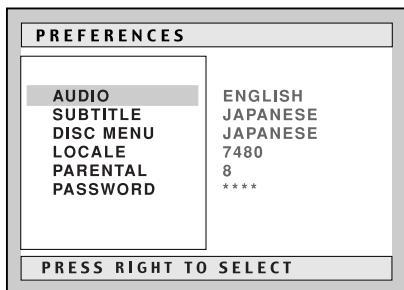


●サブメニュー

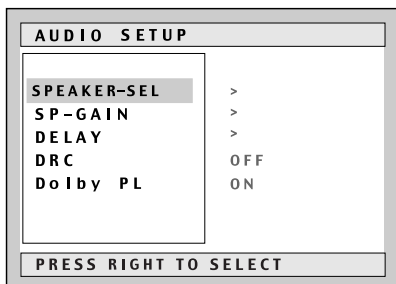
GENERAL SETUP



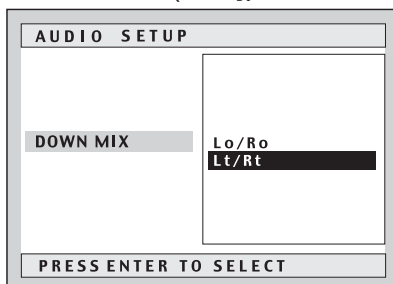
PREFERENCES



AUDIO SETUP(5.1ch時)



AUDIO SETUP(2ch時)



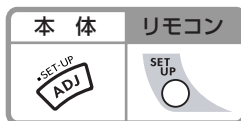
■メインメニュー画面に戻るには…

リターンボタン、またはリモコンの[RTN]ボタンを押してください。



■通常画面に戻るには…

アジャストボタン、またはリモコンのセットアップボタンを押してください。

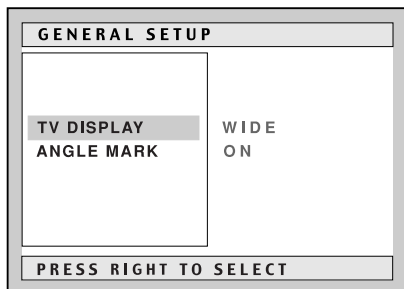


DVDビデオ関連の初期設定を変更する

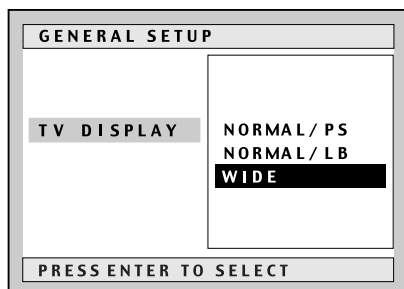
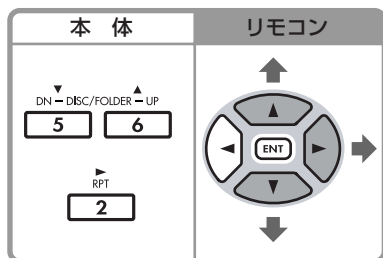
画面サイズを設定する(TV DISPLAY)

接続するテレビモニターに合わせて設定します。
※初期設定は、「WIDE」です。

- 1** 「セットアップメニューを選ぶ(P50)」の手順1～3の操作で、“GENERAL SETUP”の「TV DISPLAY」を選ぶ



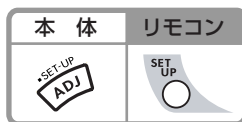
- 2** [▶]ボタンを押してカーソルを右側に移動し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して、画面サイズを選ぶ



- 3** プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押す

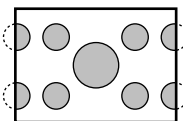


- 4** アジャストボタンを押すか、またはリモコンのセットアップボタンを押す



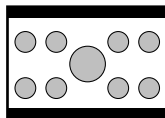
■従来のテレビモニター(4:3)で見るときには…

- NORMAL/PS(バンスキャン)
左右が切れて表示されます。



画像の重要部分を画面いっぱいに表示する機能。場合によっては、パン(スクロール)しながら表示されることもあります。

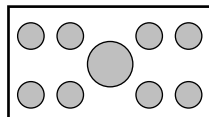
- NORMAL/LB(レターボックス)
上下に黒い帯が入ります。



通常のテレビでシネスコサイズやピスタサイズの映像を表示するために、上下のすき間を黒帯で埋め、映像を切らないで表示する方式です。

■ワイドテレビモニター(16:9)で見るときには

- WIDE(ワイド)

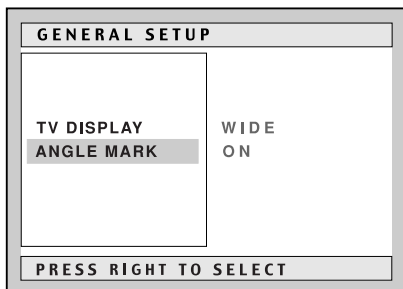


アングルマーク表示を設定する(ANGLE MARK)

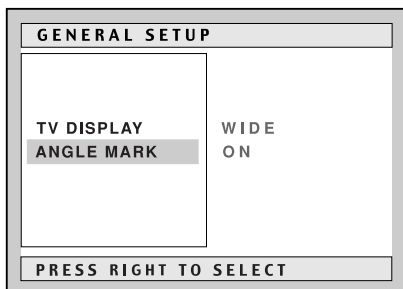
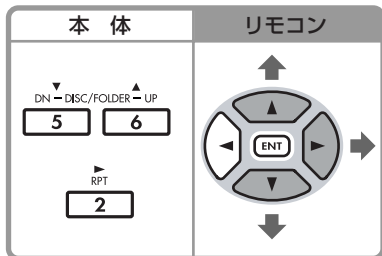
角度切り換えが可能な箇所になると、マルチアングルマークが表示するように設定できます。

※初期設定は、「ON」です。

- 1 「セットアップメニューを選ぶ(P50)」の手順1～3の操作で“GENERAL SETUP”の「**ANGLE MARK**」を選ぶ



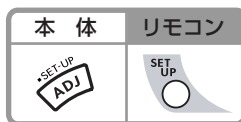
- 2 [▶]ボタンを押してカーソルを右側に移動し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して、ONまたはOFFを選ぶ



- 3 プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押す



- 4 アジャストボタンを押すか、またはリモコンのセットアップボタンを押す

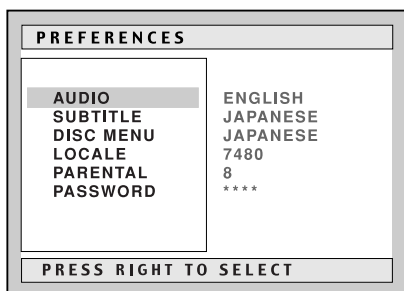


DVDビデオ関連の初期設定を変更する

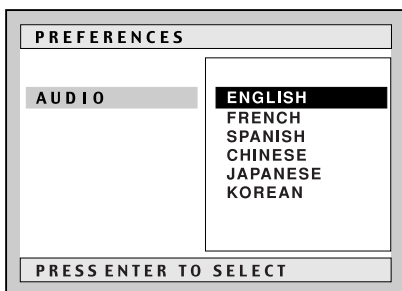
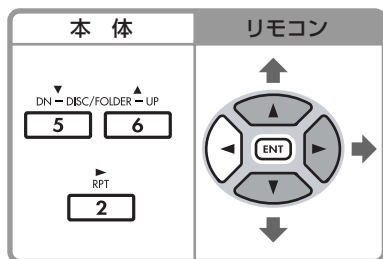
音声言語を設定する(AUDIO)

※初期設定は、「**ENGLISH**」です。

- 1** 「セットアップメニューを選ぶ(P50)」の
手順1～3の操作で“PREFERENCES”
の「**AUDIO**」を選ぶ



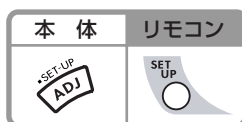
- 2** [▶] ボタンを押してカーソルを右側に
移動し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを
押して、使用言語を選ぶ



- 3** プレイ/ポーズボタン、またはリモコン
の[ENT]ボタンを押す



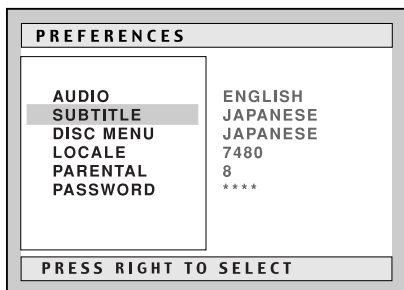
- 4** アジャストボタンを押すか、またはリ
モコンのセットアップボタンを押す



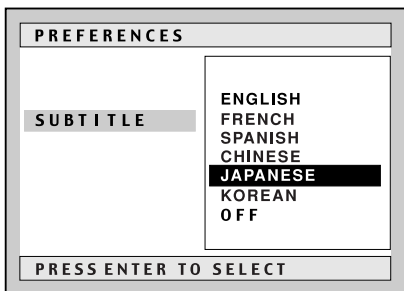
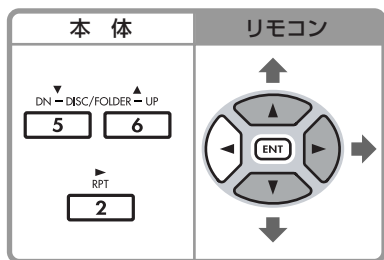
字幕言語を設定する(SUBTITLE)

※初期設定は、「JAPANESE」です。

- 1** 「セットアップメニューを選ぶ(P50)」の
手順1～3の操作で“PREFERENCES”
の「SUBTITLE」を選ぶ



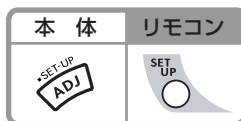
- 2** [▶]ボタンを押してカーソルを右側に
移動し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを
押して、使用言語を選ぶ



- 3** プレイ/ポーズボタン、またはリモコン
の[ENT]ボタンを押す



- 4** アジャストボタンを押すか、またはリ
モコンのセットアップボタンを押す

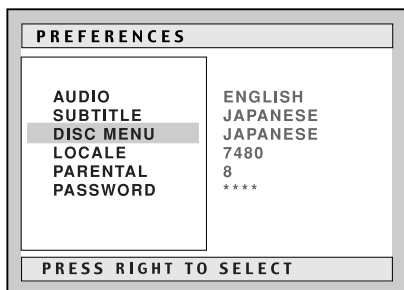


DVDビデオ関連の初期設定を変更する

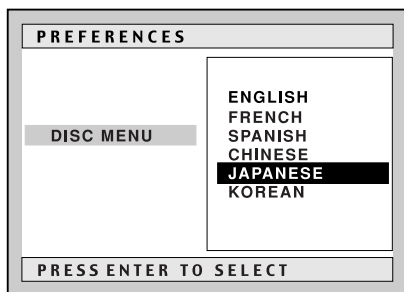
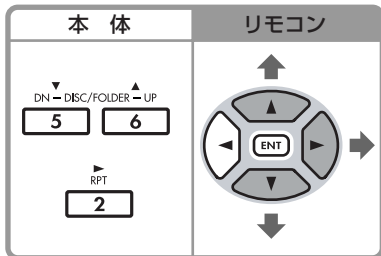
DISC MENUの言語を設定する(DISC MENU)

※初期設定は、「JAPANESE」です。

- 1** 「セットアップメニューを選ぶ(P50)」の
手順1～3の操作で“PREFERENCES”
の「DISC MENU」を選ぶ



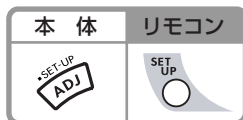
- 2** [▶]ボタンを押してカーソルを右側に
移動し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを
押して、使用言語を選ぶ



- 3** プレイ/ポーズボタン、またはリモコン
の[ENT]ボタンを押す



- 4** アジャストボタンを押すか、またはリ
モコンのセットアップボタンを押す



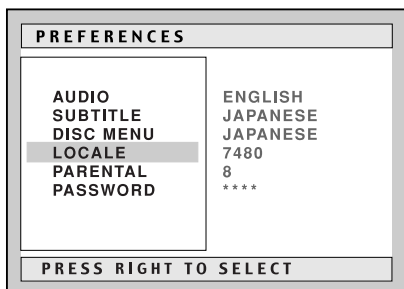
カントリーコードを設定する(LOCALE)

パレンタルレベルを設定するときの国番号を設定します。

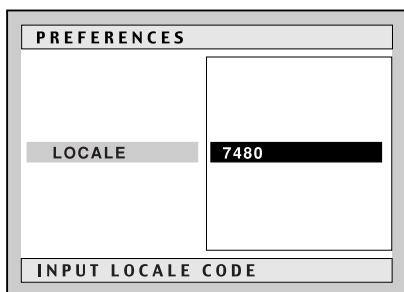
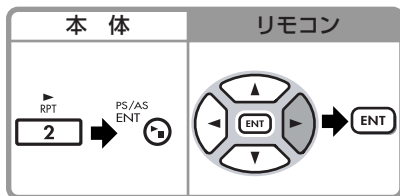
通常は変更する必要はありません。

※初期設定は、「7480」(日本)です。

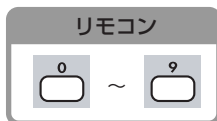
- 1 「セットアップメニューを選ぶ(P50)」の
手順1～3の操作で“PREFERENCES”
の「LOCALE」を選ぶ



- 2 [▶]ボタンを押してカーソルを右側に
移動し、プレイ/ポーズボタン、または
リモコンの[ENT]ボタンを押す



- 3 10キーボタンを押して、4桁の国番号
を入力する

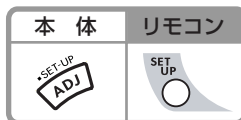


- カントリーコード(国番号)は、
日本 7480 を入力してください。

- 4 プレイ/ポーズボタン、またはリモコン
の[ENT]ボタンを押す



- 5 アジャストボタンを押すか、またはリ
モコンのセットアップボタンを押す



DVDビデオ関連の初期設定を変更する

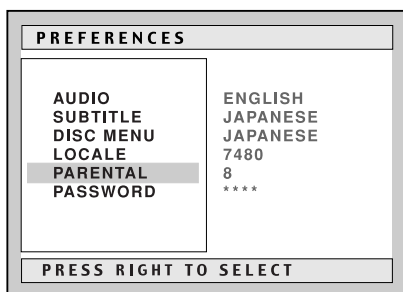
パレンタルレベルを設定する(PARENTAL)

パレンタルロックのレベル(視聴制限)を変えられます。

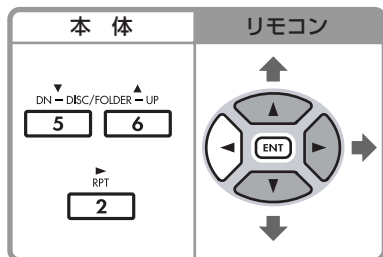
子供に見せたくないシーンをカットしたり、あらかじめ用意した別のシーンに自動的に差し替える機能です。例えば過激な暴力シーンや性描写などを、無難なシーンと差し替え、最初からそのような作品であったように見ることができます。

※初期設定は、「8 (ADULT)」です。

- 1** 「セットアップメニューを選ぶ(P50)」の手順1～3の操作で“PREFERENCES”の「PARENTAL」を選ぶ

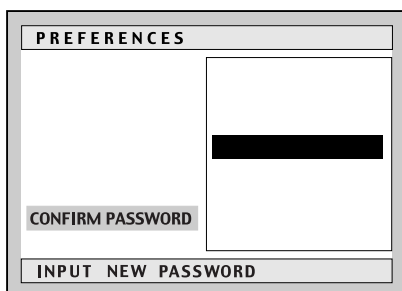


- 2** [▶] ボタンを押してカーソルを右側に移動し、[▲] ボタンまたは[▼] ボタンを押して、パレンタルレベルを選ぶ

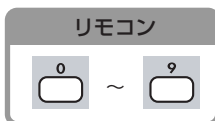


→ 1 から8または「NO PARENTAL」が選べます。

- 3** プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT] ボタンを押す

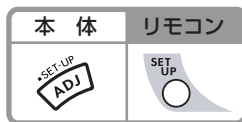


- 4** 10キーボタンで、4桁のパスワードを入力する



• パスワードの初期設定は、「0000」です。

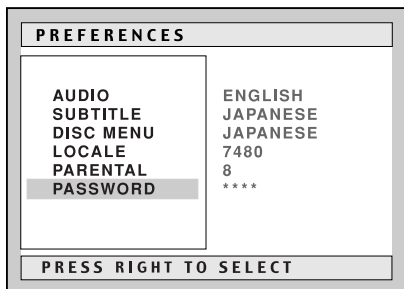
- 5** アジャストボタンを押すか、またはリモコンのセットアップボタンを押す



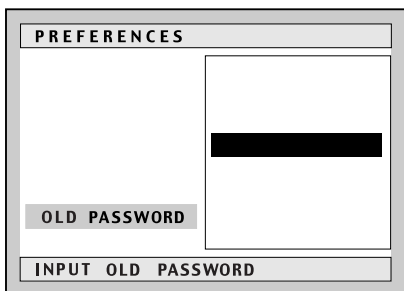
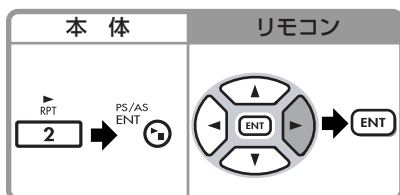
• パレンタルレベルの変更は、ディスクチェンジ後に有効となります。

パスワードを設定する(PASSWORD)

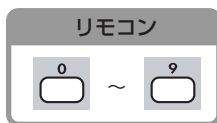
- 1** 「セットアップメニューを選ぶ(P50)」の手順1～3の操作で“PREFERENCES”の「PASSWORD」を選ぶ



- 2** [▶]ボタンを押してカーソルを右側に移動する



- 3** 10キーボタンで、4桁のパスワードをOLD PASSWORD、NEW PASSWORD、CONFIRM PASSWORDの順に入力する



OLD PASSWORD:

現在のパスワード

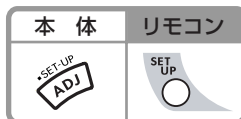
NEW PASSWORD:

設定したいパスワード

CONFIRM PASSWORD:

確認用として再度設定したいパスワード

- 4** アジャストボタンを押すか、またはリモコンのセットアップボタンを押す



- パスワードは、お忘れにならないようにメモなど書き写しておいてください。

■登録した暗証番号を忘れてしまったときは…

暗証番号を入力する画面が表示されたときに、4桁の数字「4356」(グローバルパスワード)を入力してください。

ご注意

- 視聴制限されたディスクを再生するときに暗証番号の入力画面が表示されることがあります。この場合、正しい暗証番号を入力しないと再生は始まりません。

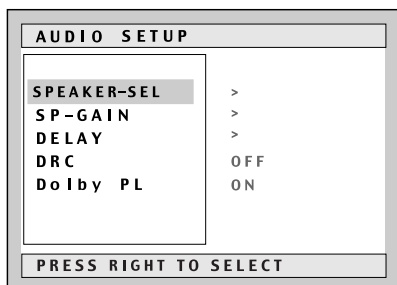
DVDビデオ関連の初期設定を変更する

スピーカーの有無を設定する(SPEAKER-SEL)

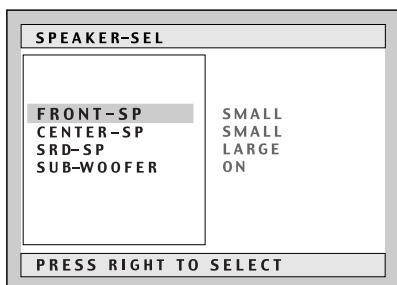
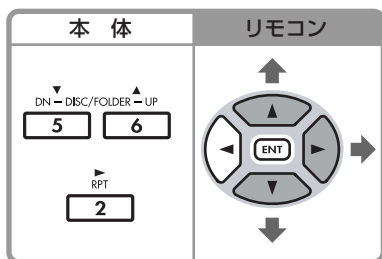
フロントスピーカー、センタースピーカー、サラウンドスピーカー、サブウーファースピーカーのサイズおよび有無を設定します。

- システムチェック時のスピーカー設定を「5.1ch」にしている場合に設定できます。

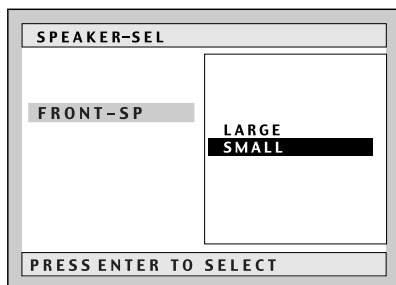
- 1 「セットアップメニューを選ぶ(P50)」の手順1～3の操作で“AUDIO SETUP”の「SPEAKER-SEL」を選ぶ



- 2 [▶]ボタンを押してから、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して、各スピーカーを選ぶ



- 3 [▶]ボタンを押してカーソルを右側に移動し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して、スピーカーの有無を選ぶ



FRONT-SP (フロントスピーカー)	LARGE SMALL*
CENTER-SP (センタースピーカー)	SMALL* OFF
SRD-SP (サラウンドスピーカー)	LARGE* SMALL OFF
SUB-WOOFER (サブウーファースピーカー)	ON* OFF

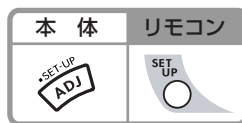
*初期設定です。

- 4 プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押す



- 5 手順2, 3, 4を繰り返して、各スピーカーを設定する

- 6 アジャストボタンを押すか、またはリモコンのセットアップボタンを押す

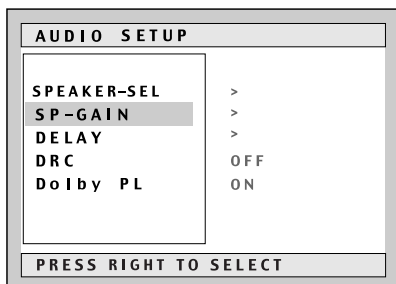


スピーカーの出力レベルを調整する(SP-GAIN)

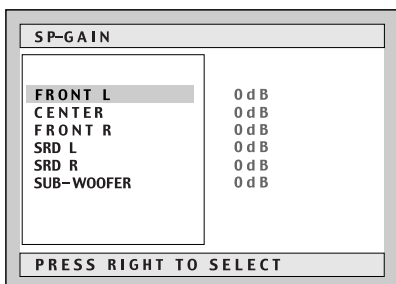
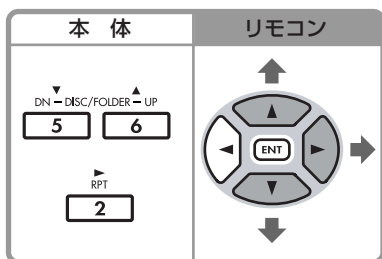
※初期設定は、「0dB」です。

- ・システムチェック時のスピーカー設定を「5.1ch」にしている場合に設定できます。

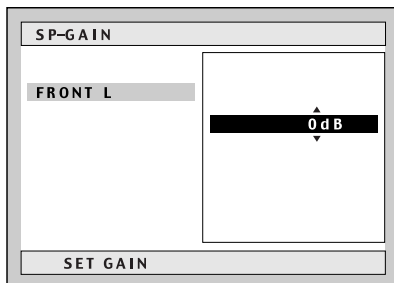
1 「セットアップメニューを選ぶ(P50)」の手順1～3の操作で“AUDIO SETUP”の「SP-GAIN」を選ぶ



2 [▶]ボタンを押してから、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して、各スピーカーを選ぶ



3 [▶]ボタンを押してカーソルを右側に移動し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して出力レベルを調整する

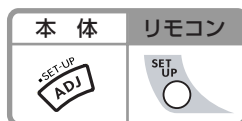


→選択したスピーカーのテストトーン(「ザー」という音)が出力されます。

- ・出力レベルの調整範囲は、「-6dB」～「+6dB」です。

4 [◀]ボタンを押してカーソルを左側に戻し、手順2,3繰り返し、各スピーカーの出力レベルを設定する

5 アジャストボタンを押すか、またはリモコンのセットアップボタンを押す



ご注意

- ・DVDビデオをミュート(消音)して再生している場合は、テストトーンが出力されません。リモコンの[MUTE]ボタンを押してミュートを解除するか、音量を調節してください。

DVDビデオ関連の初期設定を変更する

スピーカーのディレイ時間を調整する(DELAY)

スピーカーの取り付けや車の大きさにより、それぞれのスピーカーからリスニング位置に届く音のタイミングが異なります。それぞれのスピーカーのディレイ時間を調整することにより、フロントスピーカーの出力と同じタイミングで聞こえるようになります。

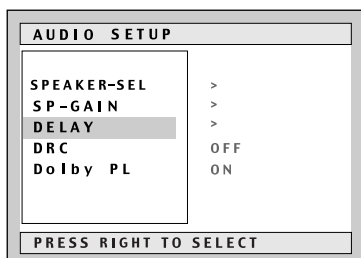
・システムチェック時のスピーカー設定を「5.1ch」にしている場合に設定できます。

ご注意

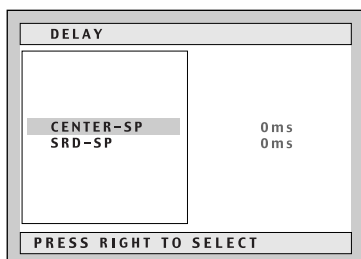
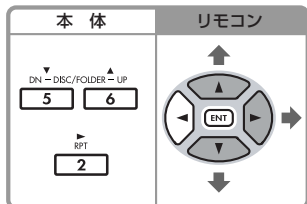
「スピーカーの有無を設定する」(60ページ)で CENTER-SP, SRD-SP, SUB-WOOFER 全てを「OFF」にした場合は設定できません。

※初期設定は、「0ms」です。

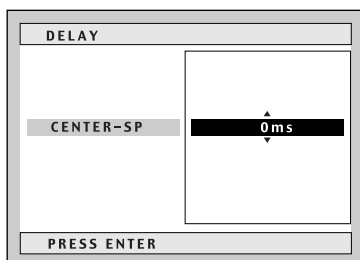
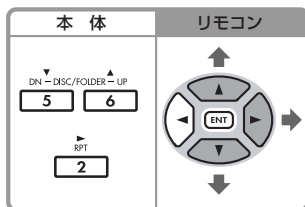
- 1** 「セットアップメニューを選ぶ(P50)」の手順1～3の操作で“AUDIO SETUP”の「DELAY」を選ぶ



- 2** [▶] ボタンを押してから[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して、各スピーカーを選ぶ



- 3** [▶] ボタンを押してカーソルを右側に移動し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して数値を調整する



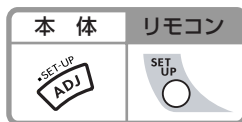
・ディレイ時間の調整範囲は、「0ms」～「15ms」(1msステップでの調整)です。

- 4** プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押す



- 5** 手順2, 3, 4を繰り返して、各スピーカーを設定する

- 6** アジャストボタンを押すか、またはリモコンのセットアップボタンを押す



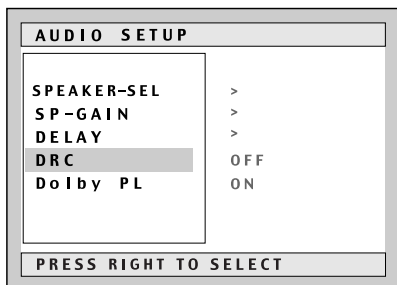
ダイナミックレンジを調整する(DRC)

通常は「**OFF**」でお楽しみいただけます。
効果音が大きく台詞が聴こえない場合は
「**ON**」にすると、音量の大きい部分を抑える
効果が得られます。

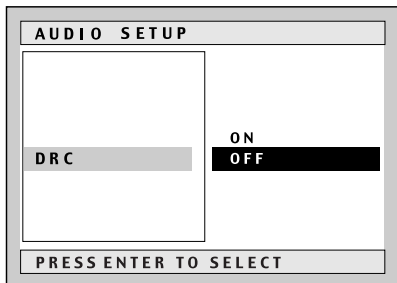
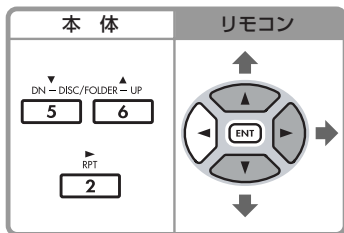
※初期設定は、「**OFF**」です。

- ・システムチェック時のスピーカー設定を
「**5.1ch**」にしている場合に設定できます。

- 1 「セットアップメニューを選ぶ(P50)」
の手順1～3の操作で“AUDIO SETUP”
の「**DRC**」を選ぶ



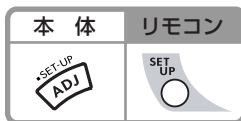
- 2 [▶]ボタンを押してカーソルを右側に
移動し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを
押して、ONまたはOFFを選ぶ



- 3 プレイ/ポーズボタン、またはリモコン
の[ENT]ボタンを押す



- 4 アジャストボタンを押すか、またはリ
モコンのセットアップボタンを押す



DVDビデオ関連の初期設定を変更する

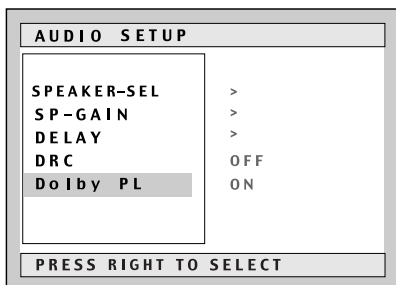
ドルビープロロジックデコードの処理を設定する(Dolby PL)

2ch(ステレオ)ソースをドルビープロロジックデコードで処理するか設定します。「ON」にすると2ch(ステレオ)音声をマルチチャンネルにして臨場感ある音響効果を得られます。

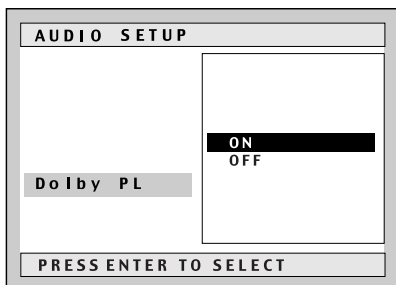
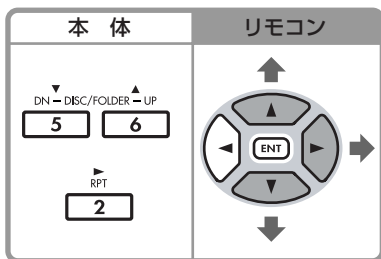
※初期設定は、「ON」です。

- ・システムチェック時のスピーカー設定を「5.1ch」にしている場合に設定できます。

1 「セットアップメニューを選ぶ(P50)」の手順1～3の操作で“AUDIO SETUP”の「Dolby PL」を選ぶ



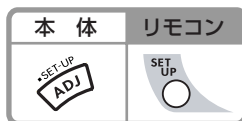
2 [▶] ボタンを押してカーソルを右側に移動し、[▲] ボタンまたは[▼] ボタンを押して、ONまたはOFFを選ぶ



3 プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT] ボタンを押す



4 アジャストボタンを押すか、またはリモコンのセットアップボタンを押す



ダウンミックスを設定する(DOWN MIX)

チャンネルフォーマットが出力チャンネル構成に一致しない場合に、ダウンミックスする方式を設定します。

通常は「Lo/Ro」に設定してください。本機以外のサラウンドシステムを用いる場合はLt/Rtにしてください。

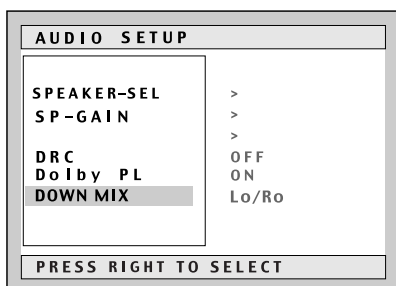
※初期設定は、「Lo/Ro」です。

- ・システムチェック時のスピーカー設定を「2ch」にしている場合は、「AUDIO SETUP」の項目は、「DOWN MIX」のみです。

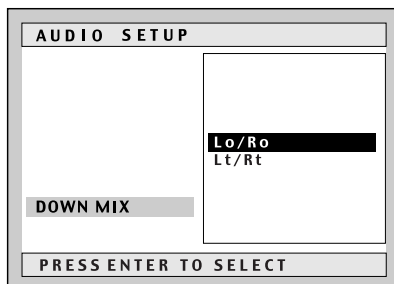
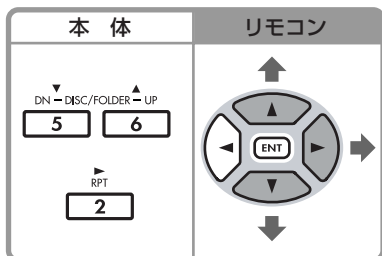
ご注意

- ・「スピーカーの有無を設定する」(60ページ)でCENTER-SP, SRD-SP, SUB-WOOFER全てを「OFF」にした場合に設定できます。

1 「セットアップメニューを選ぶ(P50)」の手順1～3の操作で“AUDIO SETUP”の「DOWN MIX」を選ぶ



2 [▶]ボタンを押してカーソルを右側に移動し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して、Lo/RoまたはLt/Rtを選ぶ



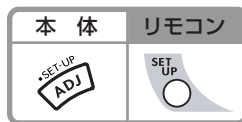
Lo/Ro : ディスクリートの5チャンネルマスターなどから2チャンネルステレオへダウンミックスする方式です。

Lt/Rt : 音声をマトリクスエンコード処理して、2チャンネルのステレオトラックへ記録する方式です。

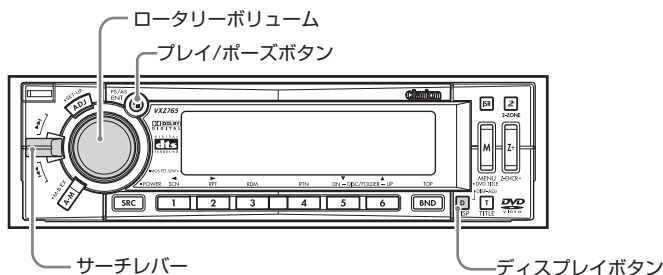
3 プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押す



4 アジャストボタンを押すか、またはリモコンのセットアップボタンを押す

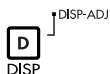


本機の初期設定を変更する



ディスプレイジャストモードの項目を選ぶ

1 ディスプレイボタンを押し続ける(約1秒間)

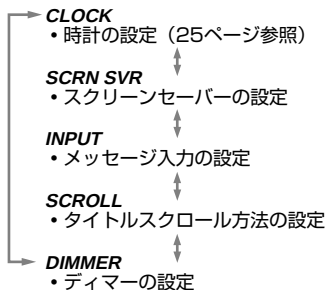


→タイトル表示部に前回調整した項目「**CLOCK**」等を表示して、ディスプレイジャストモードになります。

2 サーチレバーを上下に動かして、設定する項目を選ぶ



• 押すたびに、設定項目が右図のように切り換わります。



3 プレイ/ポーズボタンを押して、調整内容を表示させて選ぶ。または、ロータリーボリュームを回して設定する



設定終了後は、もう一度ディスプレイボタンを押してください。

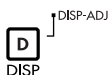
スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)

スクリーンセーバーについて…

タイトルまたは時刻を30秒間表示した後、設定されているスクリーンセーバーターンを表示します。

※初期設定は、「SS ON」です。

- 1 ディスプレイボタンを押し続けて(約1秒間)、ディスプレイアジャストモードにする



- 2 サーチレバーを上下に動かして、「SCRN SVR」を選ぶ

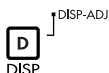


- 3 ロータリーボリュームを回して、パターン名を選ぶ



- **SS OFF**
スクリーンセーバーは表示されません。
- **SS ON**
スクリーンセーバーを表示します。
- **SS MESSAGE**
メッセージを表示します。次項の入力設定で好みの文字を表示することもできます。

- 4 ディスプレイボタンを押して、元のモードに戻る



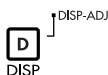
メッセージ入力を設定する(INPUT)

メッセージ入力について…

本機では英/数/記号文字を使用して30文字まで入力することができ、この機能で入力したメッセージをスクリーンセーバーとして設定することができます。

※初期設定は、「WELCOME TO CLARION」です。

- 1 ディスプレイボタンを押し続けて(約1秒間)、ディスプレイアジャストモードにする



- 1 サーチレバーを上下に動かして、「INPUT」を選ぶ



- 3 プレイ/ポーズボタンを押す



→メッセージ入力モードになります。

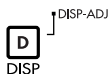
- 4 「タイトルを入力する」(75ページ) の手順4～6を繰り返して、メッセージを入力する

- 5 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



→タイトル表示部に「MSG MEMO」を表示してメモリーされます。

- 6 ディスプレイボタンを押して、元のモードに戻る

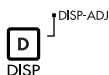


■ 本機の初期設定を変更する

タイトルスクロール方法を設定する(SCROLL)

※初期設定は、「ON」です。

- 1 ディスプレイボタンを押し続けて(約1秒間)、ディスプレイアジャストモードにする



- 2 サーチレバーを上下に動かして、「SCROLL」を選ぶ



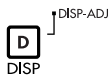
- 3 ロータリーボリュームを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ



ON : 自動でスクロールを始め、スクロールを繰り返します。

OFF : タイトルボタンを押し続けると(約1秒間)スクロールします。

- 4 ディスプレイボタンを押して、元のモードに戻る



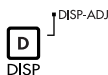
ディスプレイ照明を設定する(DIMMER)

ディマーについて…

車のイルミネーションに連動させて、ディスプレイの照明を減光させることができます。

※初期設定は、「ON」です。

- 1 ディスプレイボタンを押し続けて(約1秒間)、ディスプレイアジャストモードにする



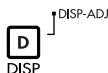
- 2 サーチレバーを上下に動かして、「DIMMER」を選ぶ

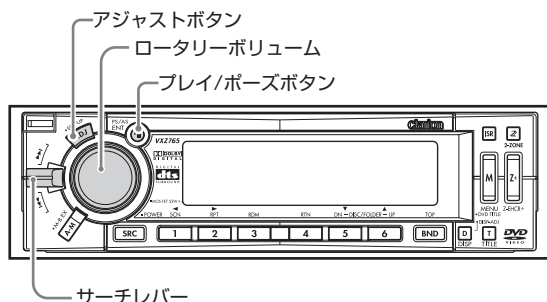


- 3 ロータリーボリュームを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- 4 ディスプレイボタンを押して、元のモードに戻る





アジャストモードの項目を選ぶ

1 アジャストボタンを押す



→タイトル表示部に前回調整した項目「LED」等を表示して、アジャストモードになります。

2 サーチレバーを上下に動かして、設定する項目を選ぶ



・押すたびに、設定項目が右図のように切り換わります。

- **LED**
 - ・プリンキングLEDの設定
- ↕
- BEEP**
 - ・ビープ音の設定
- ↕
- SW LPF**
 - ・サブウーファーローパスフィルターの設定
- ↕
- AMP CNCL**
 - ・内蔵アンプの設定
- ↕
- ST/MONO**
 - ・ステレオ/モノラルの設定 (※)
- ↕
- MAIN/SUB**
 - ・主音声/副音声の設定 (※)
- ↕
- TV DIVER**
 - ・TVダイバーの設定 (※)
- ↕
- AUX SENS**
 - ・携帯用オーディオの入力レベルを設定
- ↕
- SYSTEM**
 - ・システムチェックの開始

※B.B TVチューナー接続時に表示されます。

3 プレイ/ポーズボタンを押して、調整内容を表示させて選ぶ。または、ロータリーボリュームを回して設定する



設定終了後は、もう一度アジャストボタンを押してください。

■ 本機の初期設定を変更する

盗難抑止インジケータを設定する(LED)

ブリンクングLEDについて…

DGP脱着時にディスク挿入口のインジケータを赤く点滅させ、視覚的效果による盗難抑止効果を発揮します。

※初期設定は、「OFF」です。

- 1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



- 2 サーチレバーを上下に動かして、「LED」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- 4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



ボタン操作時のビーブ音を設定する(BEEP)

ビーブ音について…

操作時になる「ピッ」という音をビーブ音といます。本機は、この音が鳴らないように設定できます。

※初期設定は、「ON」です。

- 1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



- 2 サーチレバーを上下に動かして、「BEEP」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- 4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



ローパスフィルターを設定する(SW LPF)

ローパスフィルターについて…

使用するサブウーファーに合わせて、フィルター周波数を設定します。

※初期設定は、「**THROUGH**」です。
ただし、スピーカー設定を「5.1 ch」に設定している場合の初期設定は「**50Hz**」です。

ご注意

- この機能は、「スピーカーの有無を設定する」(60 ページ)でサブウーファーの設定が「**ON**」のときに調整できます。
- この機能は、「ドルビープロロジックデコードの処理を設定する」(64ページ)で「**OFF**」のときに調整できます。

1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



2 サーチレバーを上下に動かして、「SW LPF」を選ぶ



3 ロータリーボリュームを回して、調整する



- 調整範囲は、THROUGH、50Hz、80Hz、120Hzです。

4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



内蔵アンプを設定する(AMP CNCL)

アンプキャンセルについて…

外部アンプ使用時、内蔵アンプの出力を停止することができます。外部アンプを接続した場合は、「**ON**」に設定してください。

※初期設定は、「**OFF**」です。

1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



2 サーチレバーを上下に動かして、「AMP CNCL」を選ぶ



3 ロータリーボリュームを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ



4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



ご注意

- 内蔵アンプ使用時は、必ず「**OFF**」に設定してください。

■ 本機の初期設定を変更する

TV受信時のステレオ/モノラルを設定する(ST/MONO)

ステレオ(ST)/モノラル(MONO)について…

TV放送受信時の音声(ステレオ/モノラル)を設定します。

※初期設定は、「TV ST」です。

ご注意

- この機能は、B.B TVチューナー接続時に設定できます。

- 1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



- 2 サーチレバーを上下に動かして、「ST/MONO」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを回して、「TV ST」または「TV MONO」を選ぶ



TV ST : ステレオに設定します。

TV MONO : モノラルに設定します。

- 4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



TV受信時の主音声/副音声を設定する(MAIN/SUB)

主音声(MAIN)/副音声(SUB)について…

TV放送受信時の音声(主音声/副音声)を設定します。

※初期設定は、「TV MAIN」です。

ご注意

- この機能は、B.B TVチューナー接続時に設定できます。

- 1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



- 2 サーチレバーを上下に動かして、「MAIN/SUB」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを回して、「TV MAIN」または「TV SUB」を選ぶ



TV MAIN : 主音声を再生します。

TV SUB : 副音声を再生します。

- 4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)

TVダイバーシティーについて…

TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。

※初期設定は、「ON」です。

TVダイバーシティアンテナを使用していないときは「OFF」に設定し直してください。

ご注意

- この機能は、B.B TVチューナー接続時に設定できます。

- 1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



- 2 サーチレバーを上下に動かして、「TV DIVER」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- 4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



携帯用オーディオの入力レベルを設定する(AUX SENS)

入力レベルについて…

本機に接続された市販の携帯用オーディオの入力レベルを設定できます。

※初期設定は、「MID」です。

- 1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



- 2 サーチレバーを上下に動かして、「AUX SENS」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを回して、「HIGH」、「MID」、「LOW」を選ぶ

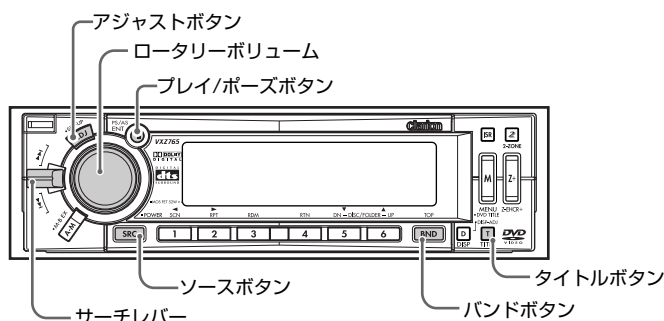


- 音量が小さいときは、「HIGH」を、大きすぎるときは、「LOW」を選択してください。

- 4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



■ 本機の初期設定を変更する



システムチェックを開始する(SYSTEM)

システムチェックについて…

本機は、結線を終えてから最初に電源を入れたときのみ接続機器の確認を行います。電源を入れるとディスプレイに「SYSTEM」が表示され、自動的に本機の内部でシステムチェックが始まります。システムチェックが終わると「SP-SET」(スピーカー設定)が表示されます。

- システムチェック完了後、続いて「SP-SET」(スピーカー設定画面)が表示されます。ロータリーボリュームを回してスピーカーを設定し、プレイ/ポーズボタンを押ください。詳しくは、「スピーカー設定をする」(22ページ)をご覧ください。

ご注意

- システムチェックでスピーカー設定を変更した場合、以前に設定した“AUDIO SETUP”の設定値および、ボリュームが初期値に戻ります。

- 1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



- 2 サーチレバーを上下に動かして、「SYSTEM」を選ぶ



- 3 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約1秒間)



→システムチェックを開始します。

タイトルをつける

タイトルを入力する

タイトル入力について…

ラジオの放送局や音楽CDに8文字までのタイトルをつけ、受信時やCD再生時に表示させることができます。入力できるタイトル数は、次の通りです。

- ラジオモード：30タイトル
- 音楽CD(DVDモード)：50タイトル
- CDチェンジャーモード：100タイトル

1 タイトルをつけたい音楽CDを再生する。またはラジオを受信する



2 タイトルボタンを押して、ユーザータイトル「USER TITL」表示にする(音楽CD再生時)



- DVDおよびMP3/WMAディスクでは、タイトル入力はできません。

3 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



→1文字目が点滅して、タイトル入力表示になります。

4 サーチレバーを上下に動かして、入力位置を決める



- 点滅している文字位置が左右に移動します。
- 入力できる文字数は8文字です。

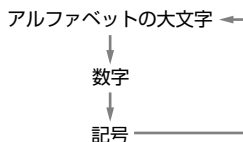
ご注意

- ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと本機にメモリーされていたタイトルは、全て消去されますのでご注意ください。

5 バンドボタンを押して、文字の種類を選ぶ



→押すたびに、次のように文字の種類が切り換わります。



• アルファベット大文字
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z (スペース)
• 数字/記号
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
\\ / * % ^ + - × / = < > ∞

6 ロータリーボリュームを回して、入力文字を決める



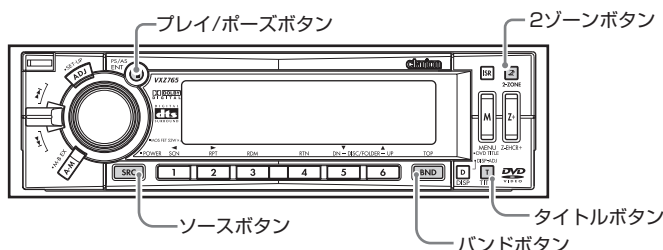
7 手順4～6を繰り返して、タイトルを入力する

8 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



→タイトル表示部に「TTL MEMO」を表示し、タイトルがメモリーされます。

■ タイトルをつける



タイトルを削除する

- 1** 削除したいタイトルの音楽CDを再生する。またはラジオを受信する。



- 2** タイトルボタンを押して、ユーザータイトル「USER TITL」表示にする(音楽CD再生時)



- 3** タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



→1文字目が点滅して、タイトル入力表示になります。

- 4** バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



→全てのタイトルが消えます。

ご注意

一文字のみを削除することはできません。

- 5** プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



→タイトル表示部に「TTL MEMO」を表示し、タイトルが削除されます。

別々のソースを楽しむ(2ゾーン機能)

2ゾーン機能について

2ゾーン機能は、2つのソースを同時に動作させて、メインゾーン(MAIN)とサブゾーン(SUB)から別々に出力し、複数のユーザーが別々のソースを楽しめる機能です。

メインゾーンの音声は、車両側のスピーカーから出力され、サブゾーンの音声は、リアモニターまたは、(市販品)アンプ付ヘッドフォン機器より出力されます。

ご注意

- オーディオモード、Zエンハンサープラス機能などの音質調整は、メインゾーンのソースに対して調整できます。サブゾーンは、リアモニターまたは、(市販品)アンプ付ヘッドフォン機器側で調整してください。
- TSZ860接続の場合、2ゾーン機能はご使用できません。

2ゾーン機能をON/OFFする

2ゾーン機能をONに設定したとき、メインゾーンは選択しているソースとなり、サブゾーンはDVDモードとなります。

※初期設定は、「OFF」です。

1 2ゾーンボタンを押し続ける(約1秒間)



2-ZONE

→ONになると、「2-ZONE」が点灯します。

2ゾーン機能をOFFにするには…

もう一度、2ゾーンボタンを押し続けます。(約1秒間)

ソースを切り換える

1 2ゾーンボタンを押して、メインゾーン「MAIN」またはサブゾーン「SUB」を選ぶ



2-ZONE

→押すたびに、コントロールゾーンが切り換わります。

- ディスプレイの「MAIN」または「SUB」が点灯して、そのゾーンが操作可能な状態になったことを表示します。

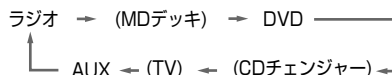
2 ソースボタンを押して、ソースを選ぶ

■POWER

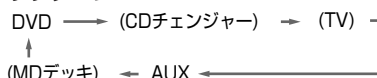
SRC

→押すたびに、次のように切り換わります。

●メインゾーン



●サブゾーン



- ()内は、CeNET対応の外部機器を接続した場合に選択できます。

ご注意

- サブゾーンでは、ラジオモードの選択はできません。
- サブゾーン選択中に、ISR機能は使用できません。メインゾーンを選択中に操作してください。
- メインゾーン、サブゾーンで異なる外部機器のソースを選択することはできません。
(例：メイン：MDデッキ サブ：CDチェンジャー)
- ISR中にサブゾーンに切り換え、外部機器(MDデッキまたはCDチェンジャー)を選択することはできません。
- TVモードの選択は、CeNET対応のB.B TVチューナー接続時のみ選択できます。

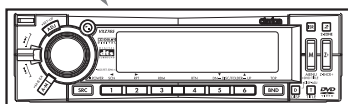
■ 別々のソースを楽しむ(2ゾーン機能)

接続方法について

ご注意

- 本機でオンダッシュTVの操作はできません。(TV側で操作してください。)
- TVを見る場合、オンダッシュTV側のソースをTVモードに切換え、本機のソースをAUXモードに切り換えてください。
- 本機の2ゾーン機能ON時にメインゾーンでDVDビデオ/ビデオCDを再生し、サブゾーンでTV見ることはできません。

本機



映像出力(VIDEO-OUT/REAR)

黒 黄

2ゾーン音声出力

赤 白 緑 白

映像出力(VIDEO-OUT/FRONT)

黒 黄

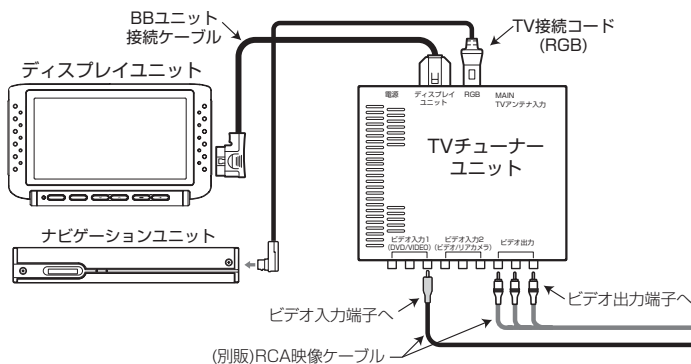
映像入力(TV-IN)

黒 黄

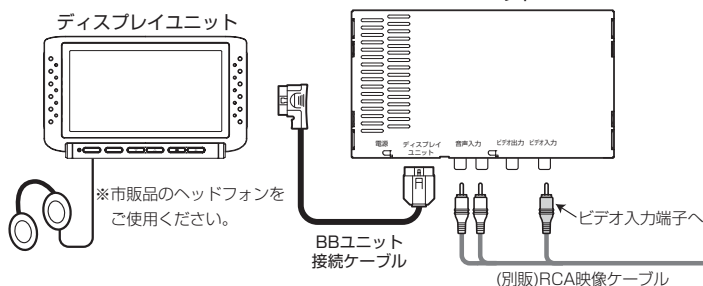
AUX音声入力

赤 白

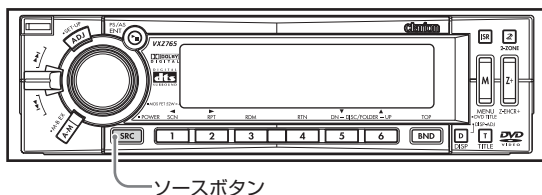
フロントオンダッシュTV+HDDナビ (NVA660HD)



リアモニター (VMA660)



携帯用オーディオを聴く(AUXモード)



AUXモードに切り換える

AUXモードについて…

本機に市販の携帯用オーディオなどを接続して音楽ソースを聴くことができます。

別販のCeNET 結線対応AUX入力ユニット(EA-1155A)は接続できません。

1 ソースボタンを押して、AUXモードを選ぶ

■POWER

SRC

→AUXモードになると、接続された携帯用オーディオの再生操作で、再生されます。

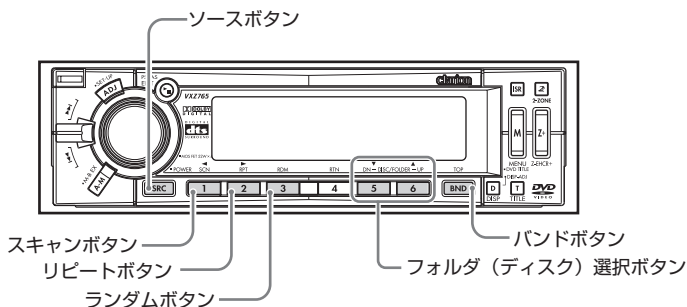
■入力レベルを調整するには…

「携帯用オーディオの入力レベルを設定する」(73ページ)をご覧ください。

■AUX入力の接続のしかた…

本機のAUX入力へ市販の接続コードを使用して、携帯用オーディオを接続してください。

CDチェンジャーを操作する



この章では、CDチェンジャーを接続したときのチェンジャー機能に関連する操作および注意事項について説明します。

その他の基本的操作については、「CD/MP3/WMA を聴く」(46～49 ページ) をご覧ください。

CDチェンジャーについて…

別販のCeNET結線対応のCDチェンジャーを接続すると、本機でCDチェンジャーをコントロールすることができます。CeNET結線対応のCDチェンジャーを合わせて2台まで接続できます。

- DVDチェンジャーは、接続できません。

2台のCDチェンジャーを接続したときは…

ソースボタンを押して、接続したチェンジャーを選択してください。(ソースボタンを押すたびに切り換わります。)

- CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「NO MAG」と表示されます。

チェンジャーモードを選ぶ

1 ソースボタンを押して、チェンジャーモードを選ぶ

■POWER

SRC

→ チェンジャーモードになると、自動的に再生が始まります。

ディスクを選ぶ

1 フォルダ(ディスク)選択ボタンまたはバンドボタンを押す



→ [5 DN]を押したときは、前のディスクに、[6 UP]を押したときは、次のディスクに移ります。

聴きたいディスクを探す (ディスクスキャン再生)

ディスクスキャン再生について…
チェンジャー内の全ディスクの最初の曲を
約10秒間ずつ再生します。

1 スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)



→再生している曲の次のディスクからスキャン再生します。

元に戻す場合は、もう一度、スキャンボタンを押してください。

1枚のディスクを繰り返し聴く (ディスクリピート再生)

ディスクリピート再生について…
再生中のディスクを繰り返し再生します。

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスクリピート再生をします。

元に戻す場合は、もう一度、リピートボタンを押してください。

全ディスクの曲をランダムに 聴く(ディスクランダム再生)

ディスクランダム再生について…
チェンジャー内の全てのディスクの曲を順
不同に再生します。

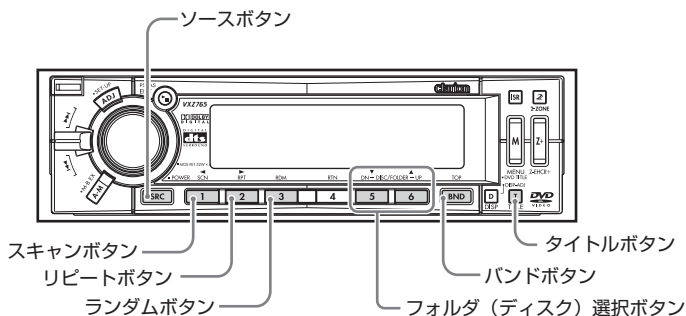
1 ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスクランダム再生をします。

元に戻す場合は、もう一度、ランダムボタンを押してください。

MDデッキでグループ編集MDを聴く



この章では、グループ編集MD再生機能付デッキを接続したときのグループ機能に関連する操作および注意事項について説明します。

その他の基本的操作については、「CD/MP3/WMA を聴く」(46～49ページ)をご覧ください。

グループ機能をON/OFFする

グループ機能について…

グループで編集されたMDを再生したときに、グループ別の再生が可能となります。通常のMDでは、グループ機能のON/OFFはできません。

※初期設定は、「**OFF**」です。

1 ソースボタンを押して、MDデッキモードにする

■POWER

SRC

→MDを入れると、グループ機能有無を確認した後、再生が始まります。グループ機能有無の確認中は「**GRP READ**」と表示されます。

2 バンドボタンを押し続ける(約1秒間)

TOP

BND

→押し続けるたびに、ON/OFFが切り換わります。

- グループ機能をONに設定すると、ディスプレイに「**GO1**」を表示します。

グループ編集MDを再生する

グループ機能をONに設定されている場合は、ディスク情報を読み込み後、グループ順に再生を始めます。

●グループ機能「ON」のとき

グループ順に再生します。グループ化されていない曲(トラック)は最後にまとめて再生します。

■グループタイトル表示を切り換えるには…

タイトルボタンを押してください。

T

TITLE

→押すたびに、ディスクタイトル→グループタイトル→トラックタイトルと切り換わります。

- 通常のMDの場合は、グループタイトル表示中に「**NO GROUP**」と表示します。

●グループ機能「OFF」のとき

通常のMDと同様に、トラックNo.の順に再生します。

- グループ機能が「**OFF**」の場合でも、「**GRP READ**」を表示してから再生が始まります。

グループを選ぶ

1 フォルダ(ディスク)選択ボタンを押す



→ [5 DN]を押したときは、前のグループに、
[6 UP]を押したときは、次のグループに移ります。

聴きたいグループを探す (グループスキャン再生)

グループスキャン再生について…

収録されている全グループの最初の曲を
10秒間ずつ再生します。

1 スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)



→再生している曲の次のグループからスキャン再生します。

元に戻す場合は、もう一度、スキャンボタンを押してください。

1つのグループを繰り返し聴く (グループリピート再生)

グループリピート再生について…

再生中のグループ内の曲を繰り返し再生します。

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)



→グループリピート再生をします。

元に戻す場合は、もう一度、リピートボタンを押してください。

全グループの曲をランダムに 聴く(グループランダム再生)

グループランダム再生について…

収録されている全てのグループの曲を順不同に再生します。

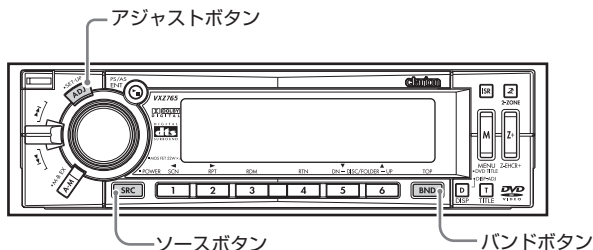
1 ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)



→グループランダム再生をします。

元に戻す場合は、もう一度、ランダムボタンを押してください。

テレビを見る



この章では、B.BTVチューナーを接続したときのTV機能に関連する操作および注意事項について説明します。その他の基本的操作については、「ラジオを聴く」(33～35ページ)をご覧ください。

TVモードを選ぶ

TVチューナーコントロール機能について…

別販のCeNET結線対応のB.BTVチューナーを接続すると、本機でTVチューナーの操作ができます。TVを見るためには、別途(別販)モニターが必要です。

※TSZ860接続の場合、本機では操作ができません。(TV側で操作をしてください。)

※TSZ840との接続はできません。

ご注意

- 本機は、英/数/記号表示のみのため、タイトルにより正しく表示できない場合があります。
- 本機にB.BTVチューナーを接続した場合、TVを見ることはできますが、タイトル入力およびエリアセレクトの設定ができません。

1 ソースボタンを押して、TVモードを選ぶ

■POWER

SRC

2 モニター側の映像入力を切り換える

- テレビやビデオを見る場合、モニター画面を自動的に切り換えることはできません。あらかじめモニター側の入力切換を「TV」に切り換えてください。切換方法は、接続モニターに付属の「取扱説明書」をご覧ください。



警告

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車してください。

受信バンドを切り換える

1 バンドボタンを押して「TV1」または「TV2」を選ぶ

TOP

BND

→ 押すたびに、バンドが切り換わります。

TV1 → TV2

ビデオを見る

1 アジャストボタンを押し続ける(約1秒間)



→ タイトル表示部に「VTR」を表示し、TVモードからVTRモードに切り換わります。

■ TVモードに戻すには…

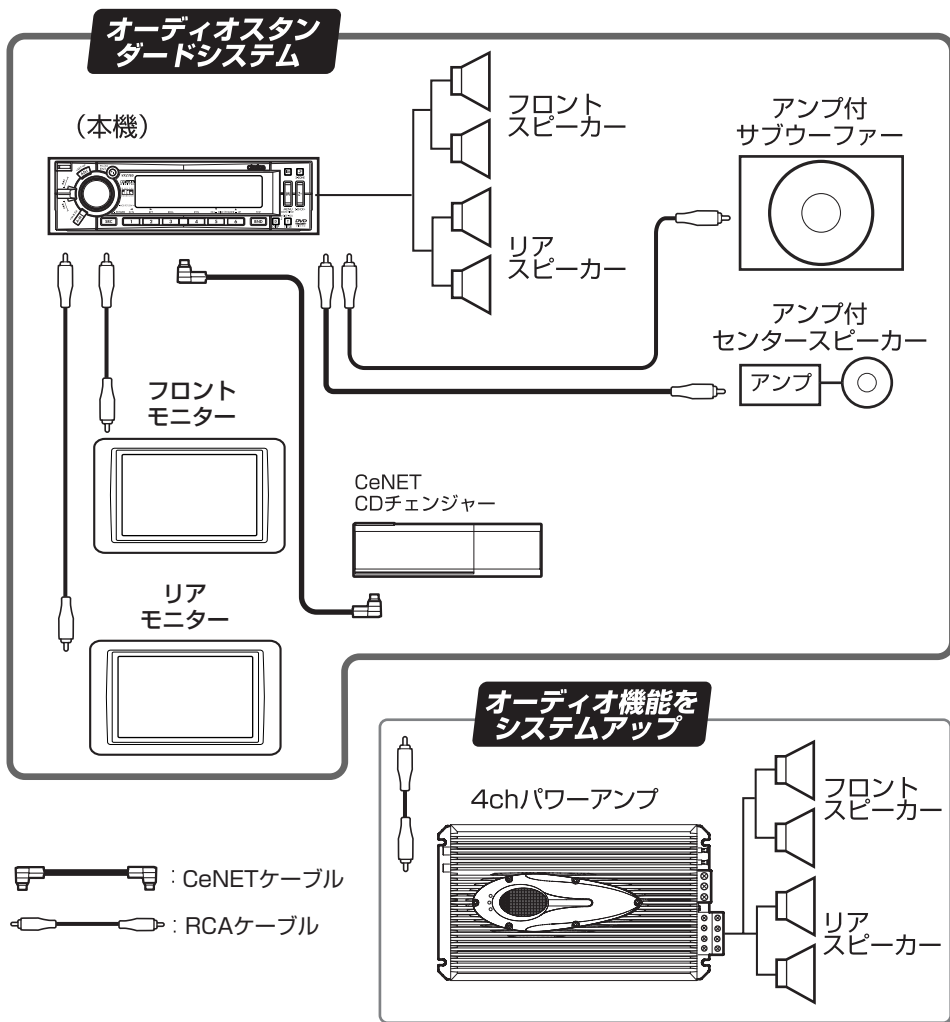
もう一度、アジャストボタンを押し続けてください。(約1秒間)

システムアップについて

本機は**CeNET** マークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。

以下のシステムアップ例は本機に接続できる機器の概要を示しています。接続可能モデルおよびそれに必要なCeNETケーブル等の詳細につきましては、販売店あるいは弊社お客様相談室にお問い合わせください。

また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。



その他

■ システムアップについて

CeNETケーブルについて

CeNET 接続ケーブルの最大配線長は、20m 以下（CeNET 分岐ケーブル CCA-519 含む）です。接続の際は、下表をご参照のうえ、配線長が 20m を越えないように、注意してください。

■CeNET接続ケーブル長一覧表

CeNET ケーブル同梱機種	ケーブル長
CeNET CD チェンジャー	5m <オス⇄オス>

別販 CeNET ケーブル	ケーブル長
CCA-519 (CeNET 分岐ケーブル)	1m <オス×2⇄メス>
CCA-520 (CeNET 延長ケーブル)	2.5m <オス⇄メス>
CCA-521 (CeNET 延長ケーブル)	0.6m <オス⇄メス>

<>内は、コネクタの形状を表しています。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。

障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

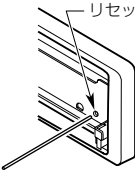
	エラー内容	原因	対処方法
DVDモード	ERROR 2	ディスクがローディングができない。または、メカが故障しているときの表示	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR 3	ディスクに傷などがあり、再生できないときの表示	傷やソリのないディスクと交換してください。
		ピックアップ部に不具合があり、再生できないときの表示	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR 6	ディスクを裏返しに入れ、再生できないときの表示	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れたときの表示	録音されているディスクと交換してください。
	ERROR R	ディスクのリージョンコードが合っていないときの表示	正しいリージョンのディスクを使用してください。
	ERROR P	視聴制限がかかっているときの表示	視聴制限を解除してください。または、レベルを変更してください。→「パレンタルレベルを設定する」の項を参照してください。
	DRM	DRM(著作権保護)の付いたWMAファイルを再生した場合、再生を停止します。	他の曲を選曲すると解除されます。(45ページ参照)
	NOT SPRT	本機でサポートされていないビットレートで作成されたMP3/WMAファイルを再生した場合、再生を停止します。(スキャン/リピート/ランダム再生は解除されます。)	他の曲を選曲すると解除されます。(45ページ参照)
CDチェンジャーモード	ERROR2	ディスクがローディングができない。または、メカが故障しているときの表示	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、再生できないときの表示	傷のないディスクと交換してください。
	ERROR6	マガジン内のCDを裏返しに入れ、再生できないときの表示	CDをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されているディスクと交換してください。

上記以外のエラーが表示されたときは、88 ページを参照してリセットボタンを押してください。

それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

故障と思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

	現 象	原 因	処 置
共 通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプ等接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプ等について、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	[リセットボタン] を、細い棒などで約2秒間押してください。  リセットボタン リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。
ラ ジ オ	音が出なくなった	スピーカー保護回路が動作しています。	1. スピーカー機能をご確認ください。 2. 音量をもう少し絞ってお聴きください。 電源を再投入することで音声出力は復帰します。 3. スピーカー保護回路が動作した場合や、再度短時間で音が出なくなる場合は相談窓口にてご相談ください。
	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。

	現 象	原 因	処 置
D V D / C D / M P 3 / W M A	音や映像がでない	ディスクを裏表逆に入れている	ディスクの印刷面を上にして入れてください。
		ディスクにMP3/WMAファイルがない	ディスクにMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3/WMAファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
	音がでない	ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、JOLIET、ROMEO でファイルを作成してください。
	音飛びする ノイズなどが入る	ディスクが汚れている	ディスクを柔らかい布でふいてください。
		MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
		ディスクに大きい傷やソリがある	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後 音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
そ の 他	ファイル名が違う	ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、JOLIET、ROMEO でファイルを作成してください。
	4スピーカー構成でシステムチェック/スピーカー設定を「 5.1ch 」に変更したら、DVDの音声 が小さくなった	「 SP-SEL 」のセンタースピーカーおよびサブウーファースの設定が「 ON 」になっている	スピーカー設定が「 5.1ch 」の時は、センタースピーカー・サブウーファースを接続してください。スピーカーが無い場合は、必ず「 SP-SEL 」(60ページ)で対応するスピーカーの設定を「 OFF 」にしてください。
	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「 エラー表示について 」を参照して、内容を確認してください。

簡単セットアップ マニュアル

5.1chを快適ご使用していただくために

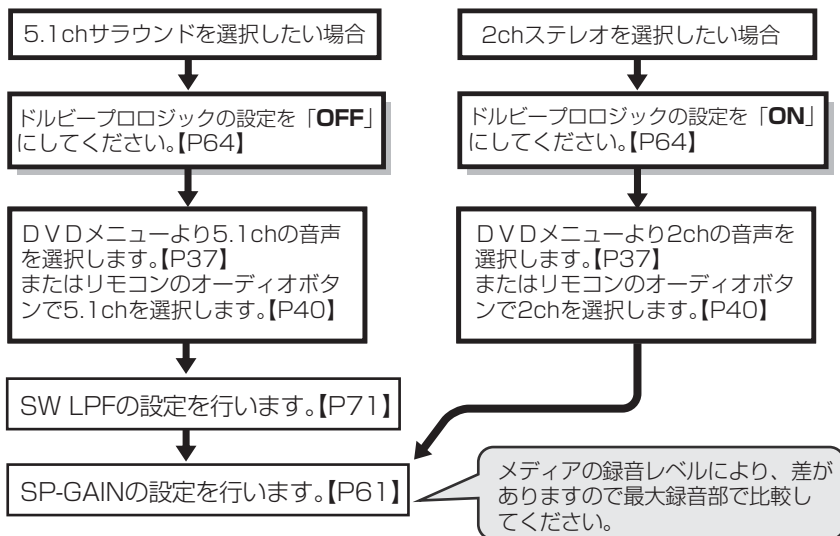
本機のスピーカ設定を5.1chに選択した場合、そのままの状態でも車室内で手軽にマルチチャンネルオーディオが楽しめますが、以下の設定を行っていただくと、本機のシステムが十分に発揮されます。

1.始めに[初回電源投入時]

- サブウーファーとセンタースピーカをそれぞれ接続し、それぞれのアンプゲインを調整してください。※設定値は高めに設定してください。
- スピーカ設定を「**5.1ch**」にします。【P22】

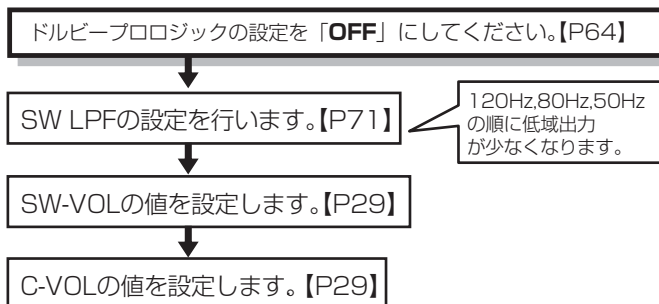
2.DVDを再生する

- DVDビデオまたはDTS-CDを再生する場合は、ディスクに記録されている音声内容を選択します。



3.CDを再生する

- CD、MP3/WMAまたはビデオCDなどを再生する場合は、以下の設定を行います。



音声出力一覧

■スピーカー設定（22ページ） および ドルビープロロジックの設定（64ページ）について以下の内容を参考にしてください。

スピーカー設定	再生するオーディオソース			
	DVDビデオ		DVDビデオ/DTS-CD	その他（CD/FM等）
「5.1ch」 5.1chスピーカーシステム （センタースピーカー/ サブウーファー有）	音声記録方式 5.1chサラウンド （ドルビーデジタル） （DTS）	2chステレオ （ドルビーデジタル）	2chステレオ （DTS）	2chステレオ
ドルビープロロジックの推奨設定	OFF	ON	OFF	OFF
本機のスピーカー出力	独立（ディスクリート） 5.1ch	サラウンド 5.1ch	フロントスピーカー 2ch	フルスピーカー 5.1ch
「2ch」 4スピーカーシステム （センタースピーカー/ サブウーファー無）	2chダウンミックス	2chステレオ	2chステレオ	2chステレオ
「2ch」設定時のスピーカー出力は、フェダー機能によって2chステレオを4スピーカーに出力します。 ドルビープロロジックの設定はできません。				

- ※ドルビープロロジックは、2ch(ステレオ)音声をマルチチャンネルにして臨場感ある音響効果を得られます。
- ※独立(ディスクリート)5.1chとは、ディスクに記録された5.1ch音声をそのまま出力します。
- ※2chダウンミックスとは、独立5.1ch音声を2ch(ステレオ)音声に変換して出力します。
- ※フルスピーカー5.1chとは、クラリオン独自の方式で5.1ch音声を出力します。
- ※DTS(2ch)でドルビープロロジックを「**OFF**」にした場合、フロントスピーカーのみの出力となります。センタースピーカー、リアスピーカーおよびサブウーファーから出力させたい場合は、ドルビープロロジックの設定を「**ON**」に設定してください。
- ※本機のシステムは、Pro Logic IIではありません。DVDビデオ以外の2chステレオ(CD、ビデオCD等)を再生する場合は、ドルビープロロジックを「**OFF**」していただくことをお勧めします。
- ※違法にコピーされたDVDビデオにはレーベル面にDolby Digital,DTS等の表示があっても2chステレオのみが記録されているものがあります。この場合には、サラウンドはお楽しみいただけません。

仕様

FMチューナー

受信周波数	: 76.0MHz~90.0MHz
実用感度	: 9dBf
50dBクワイティンク感度	: 15dBf
SN比	: 70dB
周波数特性	: 30Hz~15kHz±3dB
分離度	: 35dB(1kHz)
高調波ひずみ率	: 0.3%(1kHz)

AMチューナー

受信周波数	: 522kHz~1,629kHz
実用感度	: 28dBμV
SN比	: 50dB

DVDプレーヤー

使用可能ディスク	: DVDビデオ、CD、ビデオCD
周波数特性	: 20Hz~44kHz (DVD LPCM96k) 20Hz~20kHz(CD)
SN比	: 100dB(1kHz)IHF-A
ダイナミックレンジ	: 100dB(1kHz)
高調波ひずみ率	: 0.01%

MP3

MP3デコード	: MPEG-1、 オーディオレイヤー3準拠
サンプリングレート	: MPEG-1 : 32kHz, 44.1kHz, 48kHz
	: MPEG-2 : 16kHz, 22.05kHz, 24kHz
ビットレート	: MPEG-1 : 32k~320kbps/VBR
	: MPEG-2 : 8k~160kbps/VBR
セクタ構造	: CD-ROMモード1、モード 2-フォーム1(自動判別)
論理フォーマット	: ISO9660レベル1,2/ JOLiet/ROMEO
フォルダ構造	: 8階層
フォルダ数	: 最大255
ファイル数	: 最大512
ファイル名	: 64byte(2byte文字で32 文字)
フォルダ名	: 最大31byte(2byte文字で 15文字)

AUX

入力感度	
LOW	: 625mV(2.0V出力時)
MID	: 1.25V(2.0V出力時)
HIGH	: 2.0V(2.0V出力時)

オーディオ

定格出力	: 18W×4(20Hz~ 20kHz、1%、4Q)
最大出力	: 52W×4
適合インピーダンス	: 4Q(4Q~8Q)
2バンドEQ	: BASS(50/80/120Hz): +16dB,-12dB TREBLE(8k/12kHz): ±12dB
マグナベースEX	: +10dB(50Hz) (音量ステップ14)
ラインアウト出力レベル	: 2.0V(CD1kHz)

Zエンハンサープラス

Zエンハンサープラス(5モード)	: BASS BOOST / IMPACT / EXCITE / CUSTOM / Z+ OFF
------------------	--

共通

電源電圧	: DC14.4V
接地方式	: マイナス接地
消費電流	: 3.0A(1W時)
ヒューズ定格	: 15A/3A
外形寸法	
本体部	: 178(W)×50(H)×183(D)mm [取付寸法: 160(D)mm]
リモコン部	: 54(W)×155(H)×27(D)mm
質量	
本体部	: 1.5kg
リモコン部	: 100g(電池含む)

付属品

• 取扱説明書	 1部
• 取付説明書	 1部
• 修理相談窓口リスト	 1部
• 保証書	 1部
• 電源コード	 1本
• RCAコード	 1本
• 絶縁キャップ	 13個
• パーキングブレーキ接続コード	 1本
• エレクトロタップ	 1個
• セムス六角ボルト	 5本
• サラネジ(M5×8)	 4本
• リモコン(RCB-173)	 1個
• 電池(単3形)	 2本

* これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後6年保有しています。

クラリオン株式会社

本社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
Clarion ホームページ <http://www.clarion.com>

お問い合わせはお客様相談室へ

フリーダイヤル：0120-112-140
(9:00~12:00・13:00~17:30/土・日・祝祭日を除く)

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

*お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、
あとでお問い合わせされるときに便利です。